

# 水と緑と歴史の
# ふるさとプラン

## 水のふるさと　緑のふるさと　歴史のふるさと

野木町

# 目　次


1. はじめに ..... 1

1.1. 基本構想策定の背景 ..... 1
1.2. 野木町全域のまちづくりの展開 ..... 3

2. 対象地域の現状と課題 ..... 4

2.1. 上位計画における位置づけ ..... 4
2.2. 地域の状況 ..... 5
2.3. 来訪者インタビュー調査結果 ..... 10
2.4. 野木町の強み・弱み ..... 14
2.5. 野木町の強み・弱みを踏まえたまちづくりの課題 ..... 15

3. 水と緑と歴史のまちづくり ..... 16

3.1. “ふるさと”を象徴するまちづくり ..... 16
3.2. “ふるさと” みがきのススメ ..... 18
3.3. “ふるさと“ みがきの取組 ..... 19
3.4. 取組の方向性 ..... 20
3.5. 水と緑と歴史のふるさとプラン　構想図 ..... 32
3.6. 関連プロジェクトにおける取組の推進 ..... 34
3.7. “ふるさと”を楽しむコースの例 ..... 37

4. 水と緑と歴史のまちづくりの推進のために ..... 40

4.1. コラボレーションによるまちづくり ..... 40
4.2. 野木の魅力の情報発信 ..... 42

資料編 ..... 43

策定の経緯 ..... 43

# 1. はじめに

## 1.1. 基本構想策定の背景

野木町では、「のぎ未来プラン 第７次野木町総合計画（平成 23 年度～平成 27 年度）」（以下、「のぎ未来プラン」）において、主要プロジェクトの一つとして「水と緑と歴史のまちづくりプロジェクト」を位置づけ、地域資源を活かしたまちづくりを推進しています。

平成 24 年７月には渡良瀬遊水地がラムサール条約登録湿地に登録され、渡良瀬遊水地を有する４市２町や河川管理者の協働のもと、遊水地の保全・利活用に係る取組が進められています。また、各市町では渡良瀬遊水地の保全・活用に向けた独自のまちづくりの展開をはじめており、今後もより一層の連携強化が求められます。

以上の状況を踏まえて、野木町において、渡良瀬遊水地及びその周辺の町内にある水と緑と歴史にちなんだ地域資源を保全・活用し、交流促進及び地域振興を図るためのまちづくりの基本構想を策定するものです。

**・対象地域：水と緑と歴史のまちづくり推進ゾーンから町全域に展開します**

のぎ未来プランにおいて「水と緑と歴史のまちづくり推進ゾーン」に位置づけられている、渡良瀬遊水地を臨む地域を中心として取組を検討します。さらに、野木町内での周遊など、町全体の交流促進や地域振興を目指すものとします。

**・構想の推進：まちづくりの長期的な取組を進めて実現を目指します**

町民と行政等の協働のまちづくりによって、一歩一歩取組を進めるための道筋を示す将来構想です。個別の計画・事業については、総合計画や関連計画と整合を図りながら進めます。

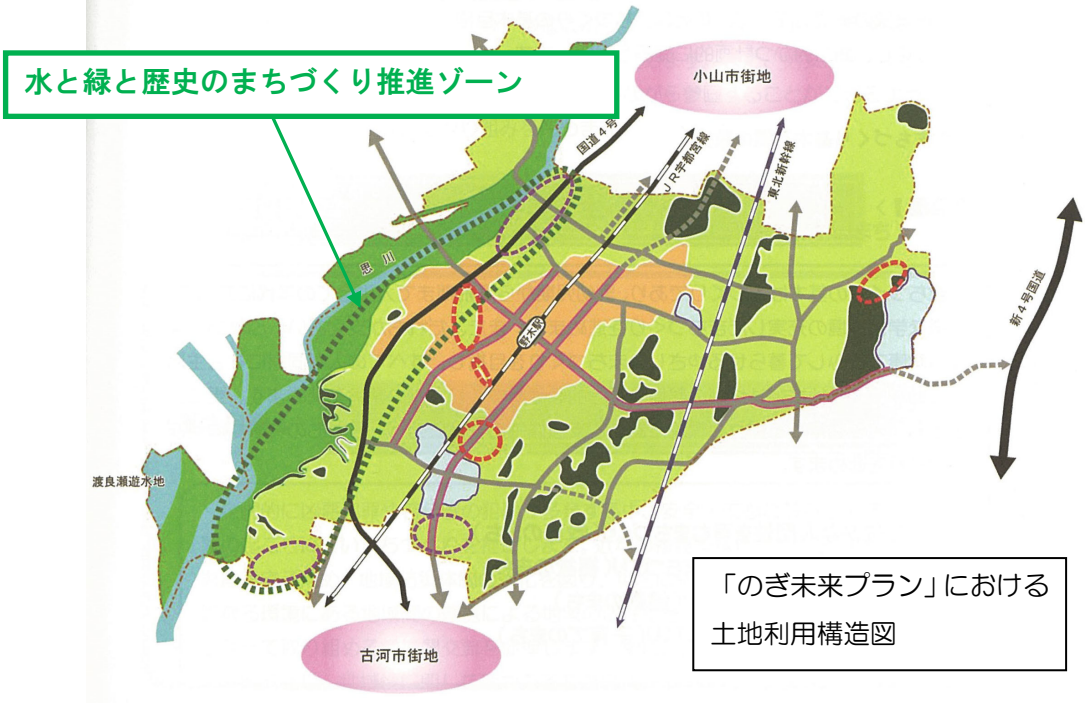



**図 1　水と緑と歴史のまちづくり推進ゾーン**
**（出典：「のぎ未来プラン」）**

**・渡良瀬遊水地周辺の主な資源と４市２町の取組状況：**

**渡良瀬遊水地の自然環境の保全・活用を図ります**

渡良瀬遊水地は栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県の４県の県境にまたがる、面積 3,300ha、治水容量 1 億 7,180 万 $m^3$ の国内最大の人工の遊水地です。遊水地には豊かな湿地環境が保たれており、貴重な植物や野生生物が生息しています。

渡良瀬遊水地を有する４市２町では、湿地環境を保全・活用しながら、そこから得られる恵みを持続的かつ適切に利用する“ワイズ・ユース”の考え方を踏まえた取組を進めています。栃木市では渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」と位置づけた「ハートランドプラン」、小山市では第二調節池における取組として「エコ・ミュージアム構想」、加須市では「渡良瀬遊水地利活用推進計画」が検討されています。

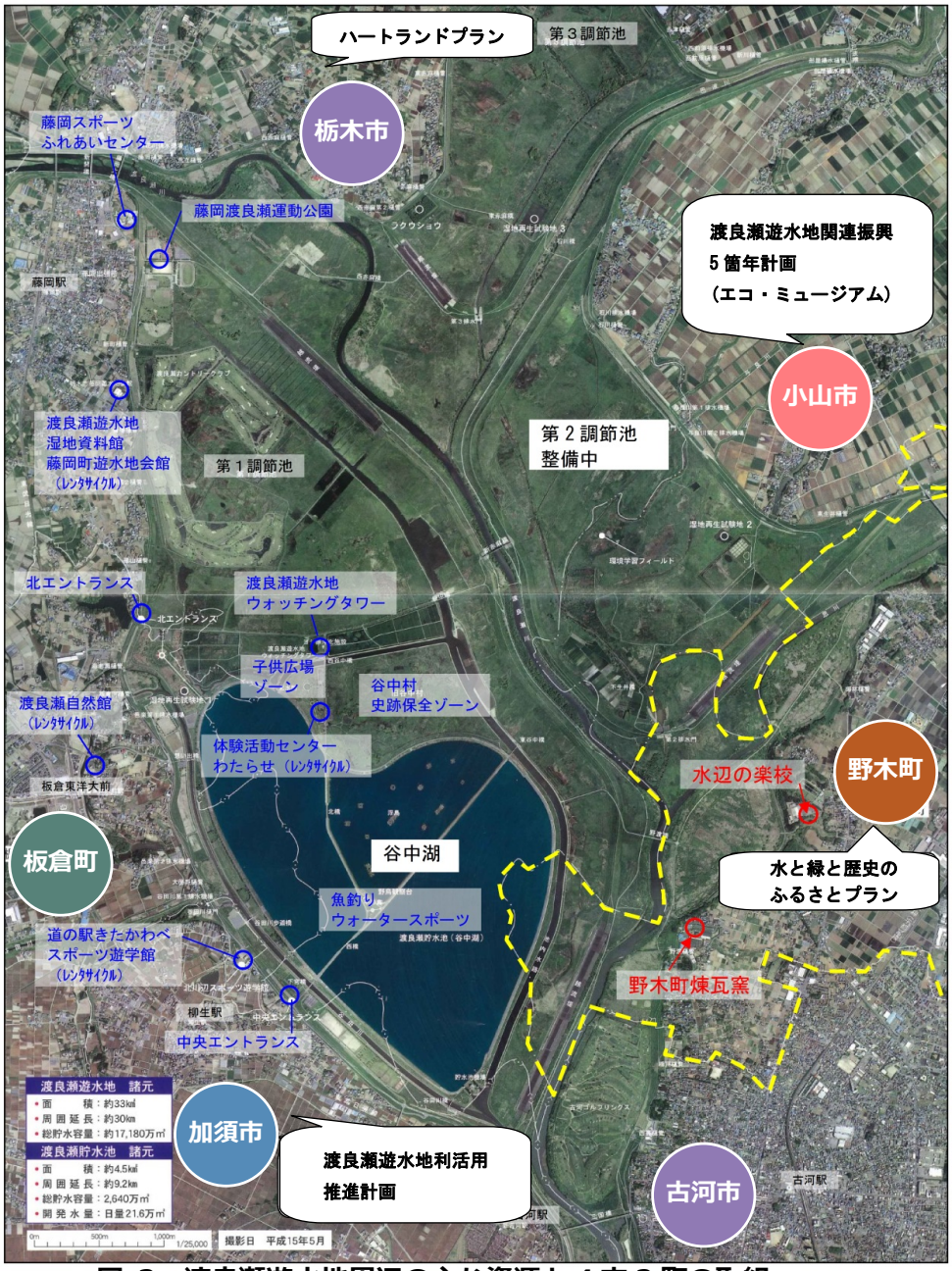
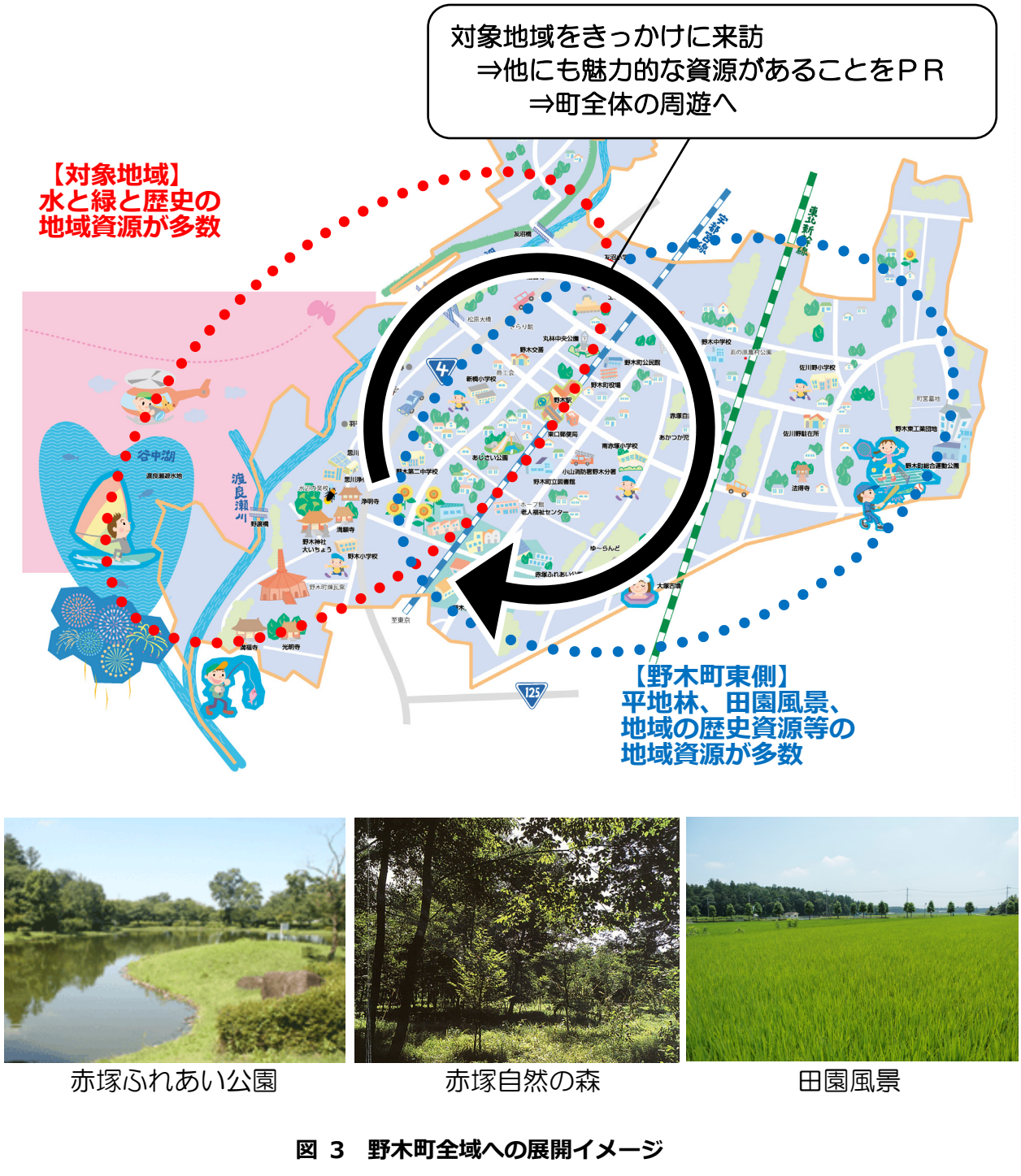



**図 ２　渡良瀬遊水地周辺の主な資源と４市２町の取組**
**（国土交通省利根川上流河川事務所発行パンフレットを基に作成）**

## 1.2. 野木町全域のまちづくりの展開

野木町には、対象地域内の地域資源以外にも、平地林、田園風景、地域の歴史資源等多くの魅力的な地域資源を有しています。

渡良瀬遊水地に臨む水と緑と歴史の特徴的な資源をきっかけとして来訪を促し、野木町にある多様な資源を知り、町を周遊しながら楽しんでもらえるよう、地域資源の活用や情報発信等を町全体での取組として進めます。





赤塚ふれあい公園


赤塚自然の森


田園風景

**図 3　野木町全域への展開イメージ**

# 2. 対象地域の現状と課題

## 2.1. 上位計画における位置づけ

第７次野木町総合計画である「のぎ未来プラン」（平成 23 年度～平成 27 年度）において、野木町の将来像を「水と緑と人の和でうるおいのあるまち」と設定しています。

また、「のぎ未来プラン」の中では、「水と緑と歴史のまちづくりプロジェクト」として、①ふれあいの拠点づくりと②拠点を結ぶネットワークの形成を柱とした事務事業を推進しています。

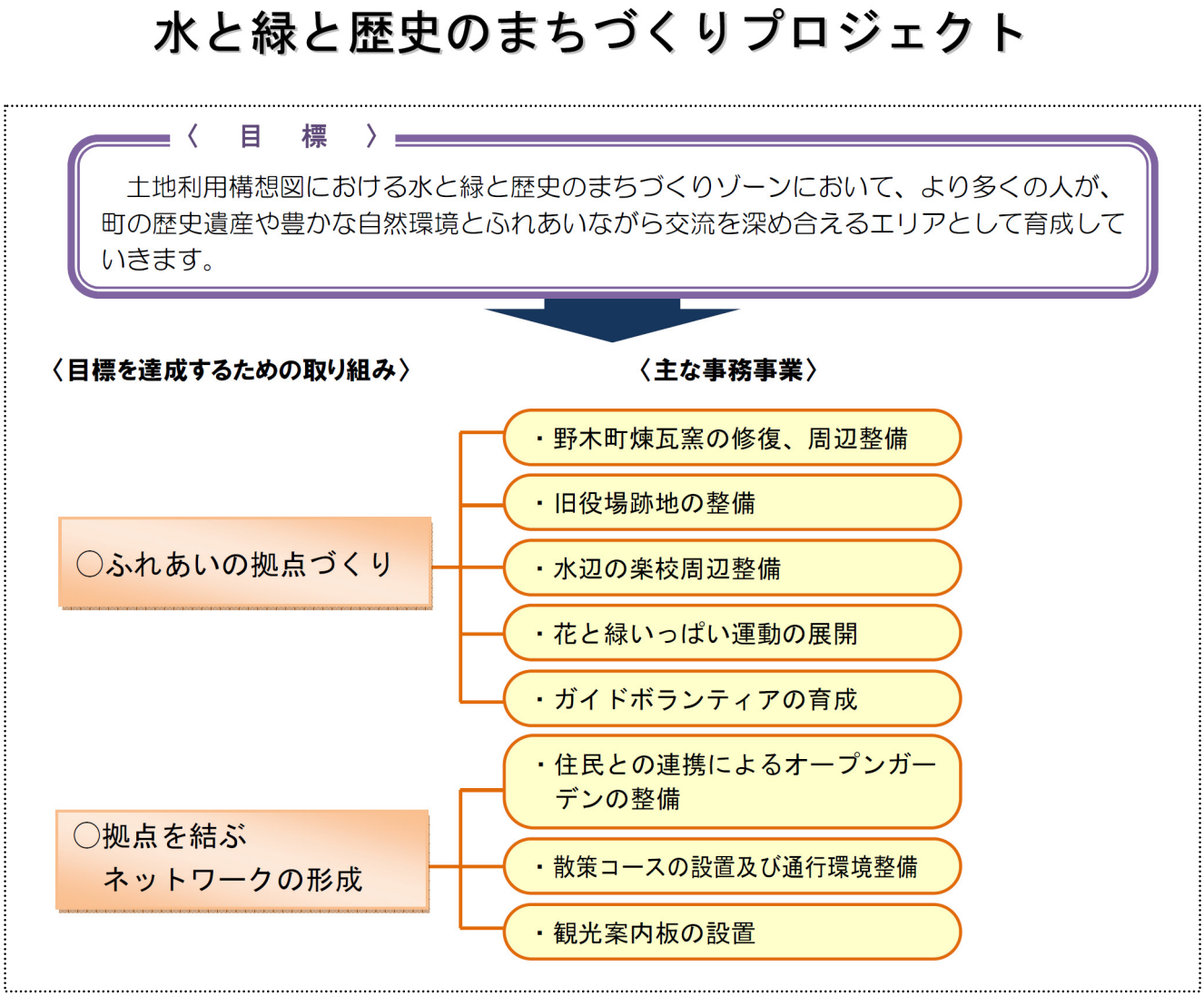



**図 4　のぎ未来プランにおける位置づけ**
**（出典：「のぎ未来プラン」）**

## 2.2. 地域の状況

### （1） 地域資源

対象地域は、自然・歴史・文化などの多くの地域資源を有しています。

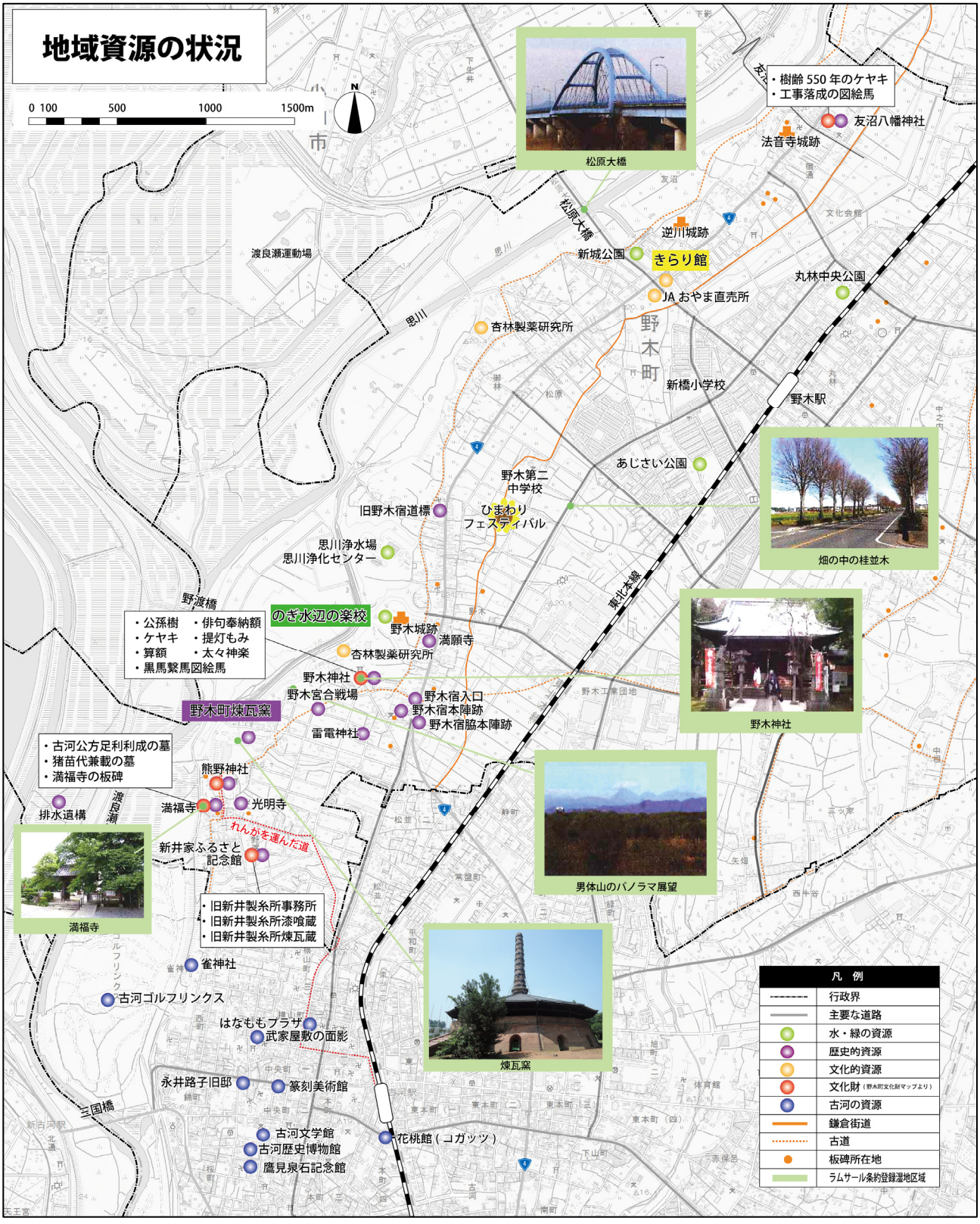



**図 5 野木町の地域資源の状況**

対象地域の主な地域資源としては、次のような資源があります。

**①野木町煉瓦窯**

煉瓦窯は、ホフマン式輪窯といわれ国内で唯一完全な形で残っています。

明治以降の建築材料である煉瓦を製造した産業遺産としても、極めて価値が高いことから、昭和54年(1979年)に国の重要文化財に指定されました。

これまで、毎年行われるひまわりフェスティバルに合わせて、煉瓦窯内の一般公開を行ってきました。修復工事が平成26年度に完成し、煉瓦を製造していた当時の姿を見ることができます。



**②のぎ水辺の楽校**

のぎ水辺の楽校は、思川への谷地地形の原野を散策できるよう整備されており、渡良瀬遊水地の植物を間近に観察できる場所になっています。

平成22年度に全面開放され、毎年6月には「ほたる鑑賞会」が行われています。



**③きらり館(野木町ボランティア支援センター)**

野木町のボランティア活動の支援を行っている施設です。団体活動を行える交流スペースと会議室、煉瓦づくりの展示館があり、野木町のボランティア団体によって活用されています。

また、前庭ではボランティアによる四季折々の草花や植栽の維持管理が行われています。

その他には、レンタサイクルの貸し出しを行っています。



**④野木神社**

野木神社は応神天皇の第八皇子で皇太子の菟道稚郎子尊の神霊を祀っており、境内には延暦年間、征夷大将軍坂上田村麻呂が植えたと伝えられる「公孫樹（イチョウ）」(町指定文化財)があります。また、神社境内地内に群生するニリンソウは、毎年３月下旬から４月中旬にかけて開花し、参拝者の目を楽しませています。



**⑤思川沿いの台地**

思川沿いの台地からは、手つかずの自然を眺めることができます。

また、満福寺付近の思川沿いの台地上からは、パノラマ状に富士山や日光連山、筑波山等を眺めることができ、夕暮れには夕景を楽しむことができます。



**⑥ひまわりフェスティバル**

約 4.3ha の敷地に、約 20 万本のひまわりの作付けを行うほか、ひまわり大迷路、ふれあい模擬店、打上花火、有名歌手による歌謡ショーや子ども向けキャラクターショーのイベントを実施しています。野木第二中学校南側で開催されています。



## （2） 観光動向

### 観光客入込数

野木町内の観光客入込数は、平成 19 年以降やや減少しましたが、平成２２年以降増加に転じ、平成 25 年度で年間約 13.4 万人となっています。

ひまわりフェスティバルにあわせて開催された野木町煉瓦窯の特別公開には、多い年では 1,000 人を超える見学者が来場しています。

近隣市の状況としては、栃木市や小山市では年間約３００～４００万人であり、近年増減の変動はありますが平成 19 年比では増加の傾向にあります。

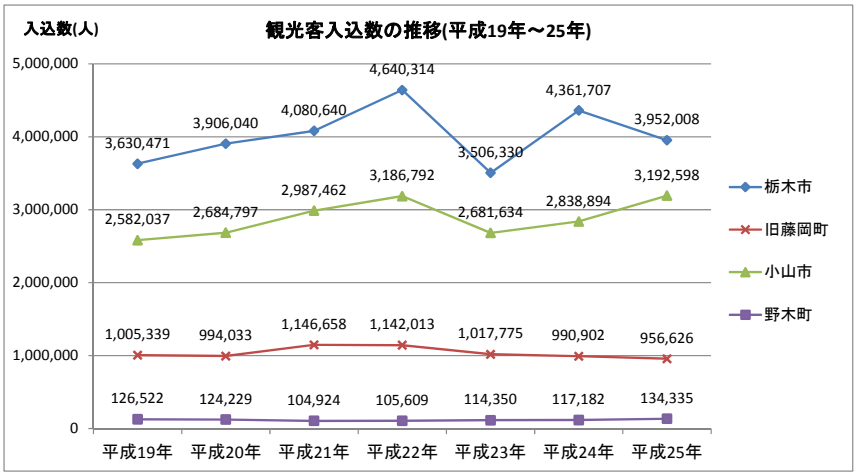



**図 6 観光客入込客数**

**（資料：平成 25 年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果／栃木県産業労働観光部観光交流課）**

### 渡良瀬遊水地の利用者

渡良瀬遊水地の利用者数は、平成９年度（1997 年度）以降の 80 万人弱の入込数から、平成 18 年度（2006 年度）、平成 23 年度（2011 年度）の大きな落ち込みを除いて、毎年度徐々に増加しており、平成 21 年度（2009 年度）には 100 万人を超えています。こうした遊水地の利用者に野木町の資源を知ってもらい、足を伸ばしてもらう方策が必要です。

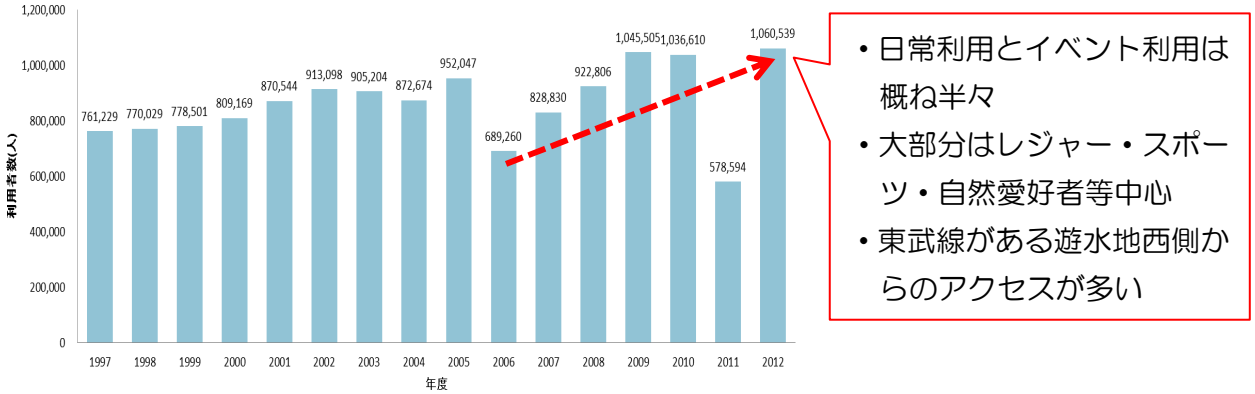



**図 7 渡良瀬遊水地利用者数の推移**

**（資料：社会環境の激変に対する渡良瀬遊水地周辺地域の地域活性化活動に関する研究 研究成果報告書／東洋大学地域活性化研究所／平成 26 年 3 月）**

### （3） まちづくり活動

野木町ボランティア支援センター「きらり館」登録ボランティアは、平成 26 年５月 31 日時点において、１０７団体(のべ5,６０８人)となっています。

対象地域を中心に活動している主な団体として、「野木地域まちづくり協議会」「のぎ水辺の楽校応援倶楽部」「野木町煉瓦窯を愛する会」「野木宿はないっぱい推進会」「野木町の自然環境をいかす会」などがあります。

### （4） 町民意識　～魅力ある野木町の風景～

平成２６年１０月に実施した町民アンケート調査結果※（町内在住１８歳以上男女、回答1,１９８人）では、魅力のある町の風景についての回答として「河川（思川・渡良瀬遊水地等）」が 46.0%で最も多く、遊水地側の自然に関心が高いことがうかがえます。次いで「田園」が 27.5%、「ひまわり畑」が 26.0%となっています。

※アンケート配布数は 2,992 通、回収率は 1,198 通、回収率は 40.04%であった。

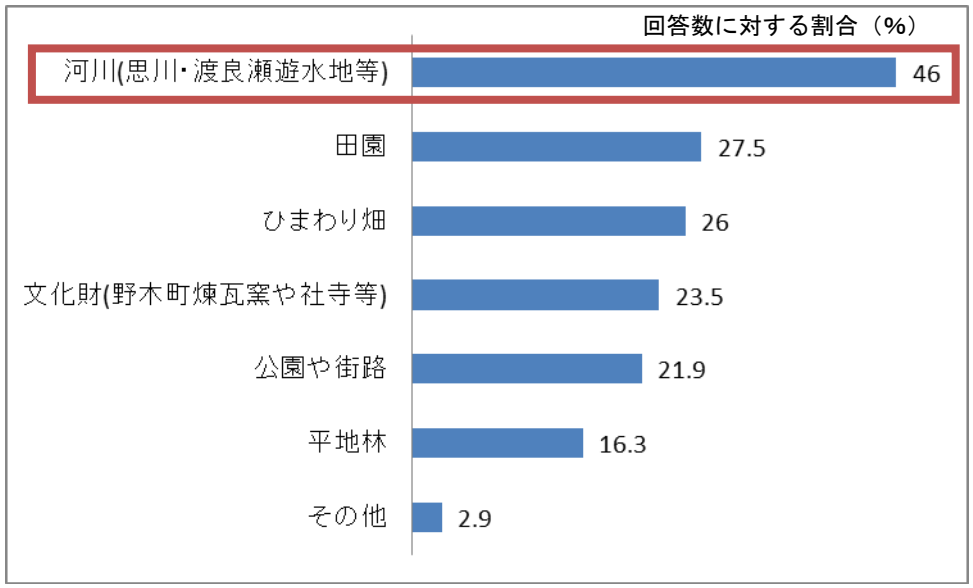



**図 8　魅力ある野木町の風景（複数回答／n＝1,198）**

**（資料：平成 26 年 10 月　「町民アンケート調査」結果報告書）**

## 2.3. 来訪者インタビュー調査結果

野木町煉瓦窯一般公開に合わせ、来訪者へのインタビュー(聞き取り)調査を実施しました。調査の概要は以下のとおりです。

○調　　査　　日：平成２６年７月２７日(日)
○調査対象者数：１０１名（町内在住者 23 名、町外在住者 73 名、住所回答なし５名）
○調 査 箇 所：野木町煉瓦窯
○調 査 方 法：調査員による聞き取り及び回答者直接記入方式
○調 査 内 容：・利用者行動（目的、訪れた場所、交通手段、同伴者）
・地域資源の認知・媒体
・野木町に対するイメージと周辺市町との比較
・（野木町や遊水地周辺で）余暇を過ごす場合に期待すること

回答の概要と、まちづくりの視点を以下に整理します。

### ①野木町煉瓦窯を訪れた交通手段について

全体の 76.2%が自家用車で野木町煉瓦窯公開イベントに訪れています。また、徒歩、自転車、レンタサイクル、電車での来訪者は少ないことが分かりました。

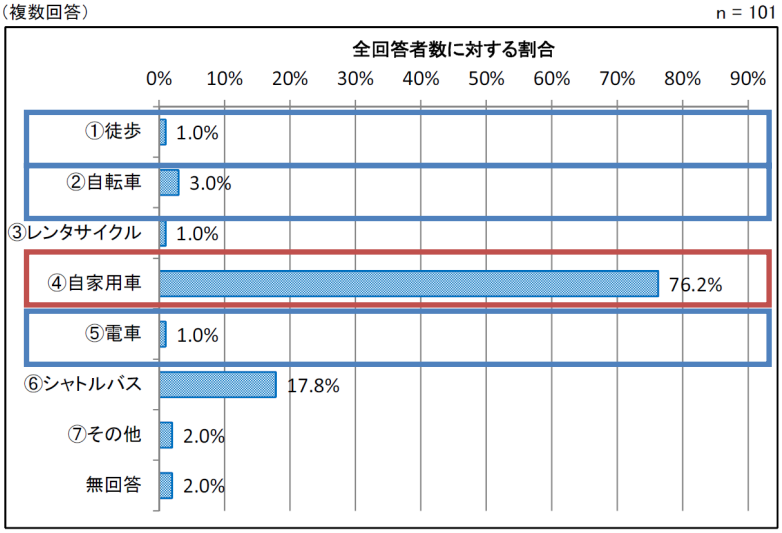



**図 9　煉瓦窯を訪れた交通手段について**

【まちづくりの視点】
自家用車での来訪者のための施設の整備とともに、電車での来訪者の呼び込み、レンタサイクルや徒歩によって地域内を周遊するための整備が必要と考えられます。

### ②野木町煉瓦窯や野木町の魅力的な点について

「野木町煉瓦窯等の歴史・魅力」「近い・家から来やすい」という回答が多くみられました。一方で「テレビ・新聞で見て興味がわいた」という回答は、少ないことが分かりました。

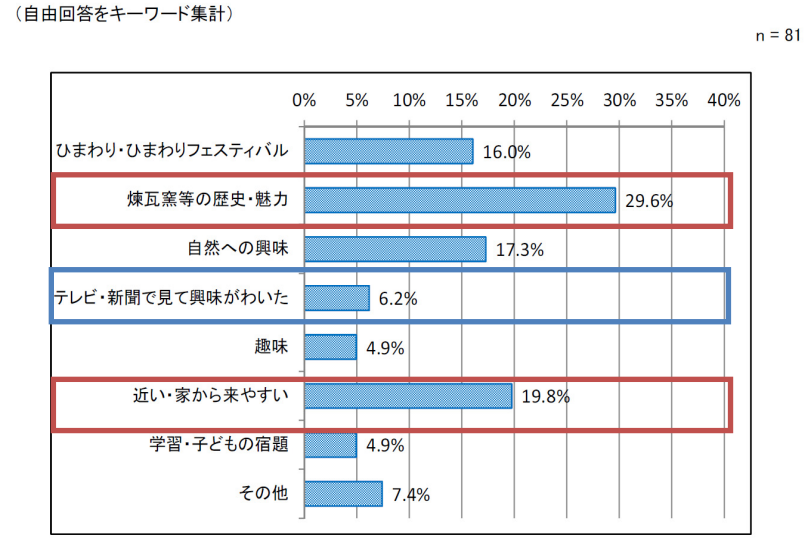



**図 10　煉瓦窯や野木町の魅力的な点について**

【まちづくりの視点】
外部からの集客を行うためには、今後魅力的なＰＲが必要と考えられます。

### ③野木町内で「知っている」または「行ったことがある」場所について

「ひまわりフェスティバル」「渡良瀬遊水地」「野木神社」「渡良瀬川」などが多くあげられています。

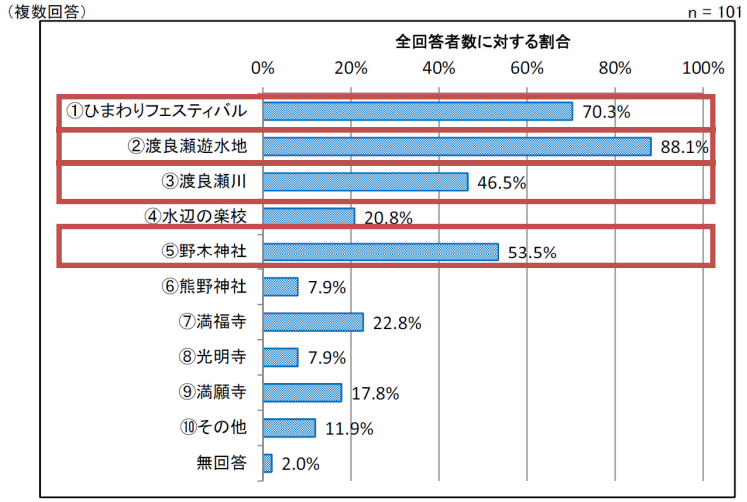


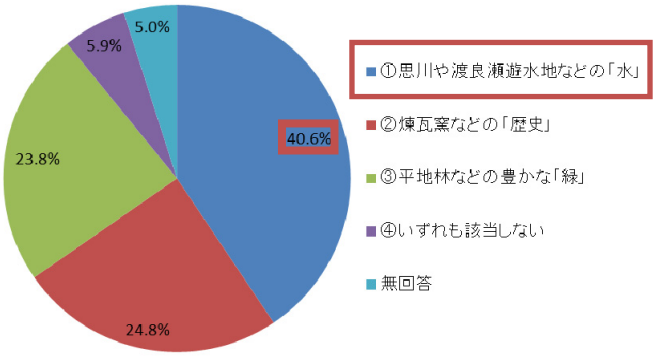

**図 11　野木町内で「知っている」または「行ったことがある」場所について**

【まちづくりの視点】
知名度が低い場所については、知名度の高い場所とセットにしてＰＲするなどして、地域資源としての活用が必要と考えられます。

## ④野木町のイメージについて

＜「水」「緑」「歴史」について＞

「水」「緑」「歴史」に関する野木町のイメージでは、「水」に関するイメージの回答割合が 40.6%と最も高く、次いで「歴史」が 24.8%、「緑」が 23.8%となりました。




※割合については、小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が 100.0%とならない場合があります。

**図 12　「水」「緑」「歴史」に関する野木町のイメージについて**

【まちづくりの視点】

「水」のイメージが最も多い結果となりましたが、「緑」「歴史」についても 20%以上の回答者がイメージを持っており、「水」「緑」「歴史」のイメージがバランスよく持たれていることが分かりました。今後は、この３つを軸として、さらに強いイメージをつくりだしていくことが必要と考えられます。

＜自由回答＞

野木町のイメージに関する質問では、「ひまわり」の 27.0%が最も高く、次いで「町のよい環境」21.6%、「自然、水と緑」18.9%となりました。

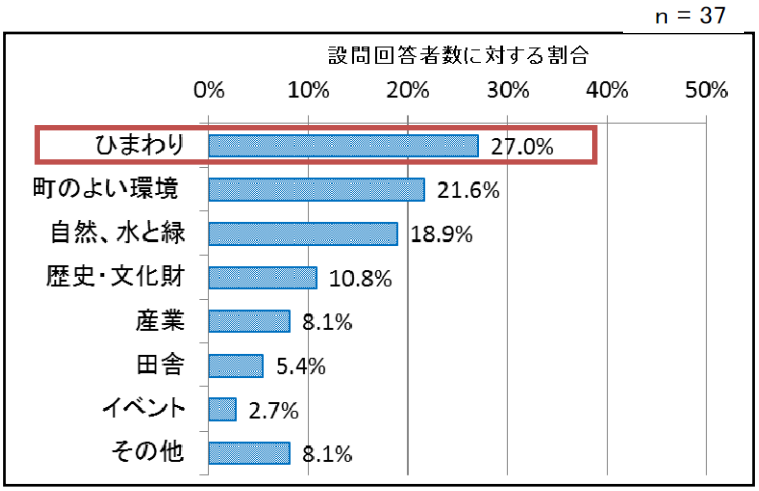



**図 13　野木町のイメージについて(自由回答)**

【まちづくりの視点】

野木町が特にＰＲしているひまわりについては、多くの回答者がイメージを持っていることがわかりました。また、「産業」「田舎」「イベント」等一部の人が持っているイメージについても、対象地域の個性の一つとして今後、活かしていくことが考えられます。

### ⑤野木町や渡良瀬遊水地周辺で一日過ごすのにやりたいことについて

最も多い回答は、「散歩・散策」「スポーツ」「食」であり、次いで「サイクリング」「キャンプ・バーベキュー」があげらました。

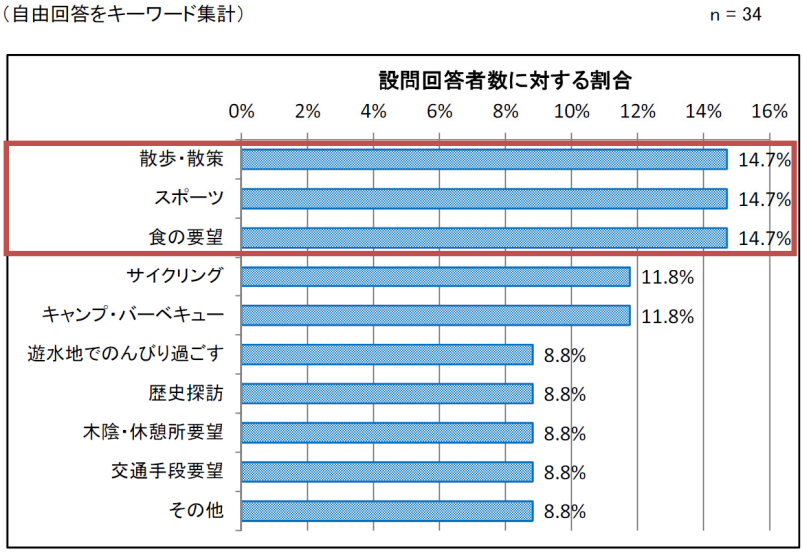



**図 14　野木町や渡良瀬遊水地周辺で一日過ごすのにやりたいこと**

【まちづくりの視点】

「遊水地をのんびり眺めること」「サイクリングや散歩で楽しめること」「食事ができる場」「休憩できる場」等が求められていることが分かったため、こうしたニーズに応えることが、利用者の満足度を高めることにつながると考えられます。

## 2.4. 野木町の強み・弱み

野木町の「強み」と「弱み」、さらに渡良瀬遊水地周辺地域との関係性について「好条件」と「悪条件」を整理しました。

**野木町の**

### ○強み○

**■人・活動**
- 現在、野木町では多くの町民が地域での活動を行っており、野木町内外を対象としたイベントも多く行われている。
- 県境に立地し、県内外との交流や通勤・通学があるため、様々な視点を持つまちづくりの担い手により、活動を展開できる可能性がある。
- 渡良瀬遊水地の自然と人の生活が近接している。

**■資源**
- 日本で唯一、現存する円形のホフマン式煉瓦窯（平成 26 年９月改修完了）がある。
- 野木神社や野木宮合戦の知名度が高い。
- 地域内には、思川沿いの手つかずの自然があり、野鳥の生息地となっているなど、自然環境学習に適した場所がたくさんある。
- 思川沿いの台地の上から富士山や筑波山を眺めることができる。また、夕景が絶景である。

**■イメージ**
- 毎年、ひまわりフェスティバルが開催されることより、「ひまわり」のイメージが強く根付いている。
- 「水」「緑」「歴史」の地域資源が、バランスよく配置されており、観光資源としてのポテンシャルが高い。

**野木町の**

### ○弱み○

**■人・活動**
- 町民による個々の活動団体の規模が小さい。
- 野木町の歴史や資源について、町民の方々が十分に理解しているとは限らず、活用の機会を逃している可能性がある。

**■資源**
- 地域資源が点在しているため、分かりにくく魅力が見えにくい。
- 地域資源が駅から離れているため、ほとんどの来訪者がマイカーを利用し、電車での来訪者が少ない。
- 観光資源の核となる施設やテーマ性がないため、野木町内外に地域資源の魅力のＰＲができていない。

**■イメージ**
- ベッドタウンの印象が強く、平均的で特筆するインパクトがない。

**渡良瀬遊水地周辺地域との関係性**

### ○好条件○

**■渡良瀬遊水地との関係性**
- 渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録される等認知度は高く、利用者は増加傾向にあり年間 100 万人を超えている。
- 思川沿いの台地による複雑な地形により、渡良瀬遊水地の広大で整った水辺の景色とは対照的な手つかずの自然が残されている。

**■野木町内外の交通手段**
- 渡良瀬遊水地から、野渡橋(現在は車両通行禁止)や松原大橋を経由して野木町方面へアクセスすることができる。
- 東京・埼玉方面から電車で野木町に来やすい。

**渡良瀬遊水地周辺地域との関係性**

### ○悪条件○

**■渡良瀬遊水地との関係性**
- 野木町と渡良瀬遊水地内のメイン施設に距離がある。
- 渡良瀬遊水地内の施設に比べて、野木町には集客能力が高い施設がない。

**■野木町内外の交通手段**
- バスやレンタサイクル等の交通手段がないため、野木町と渡良瀬遊水地間の長距離の移動手段が車に限られてしまう。
- 現在、野渡橋が車両通行禁止になっているため、車でのアクセスがしにくい。

## 2.5. 野木町の強み・弱みを踏まえたまちづくりの課題

対象地域の一番の強みは、「水」「緑」「歴史」に関する地域資源を数多く有していることです。また、周辺状況から今後まちづくりで活用できるものとしては、「渡良瀬遊水地が隣接している」ことがあげられます。

一方で、「地域資源があるものの活用されていない」「渡良瀬遊水地と対象地域の関係性が薄い」という課題があります。

今後は、対象地域にある地域資源の活かし方について考えるとともに、対象地域に不足しているものを補っていく必要があります。

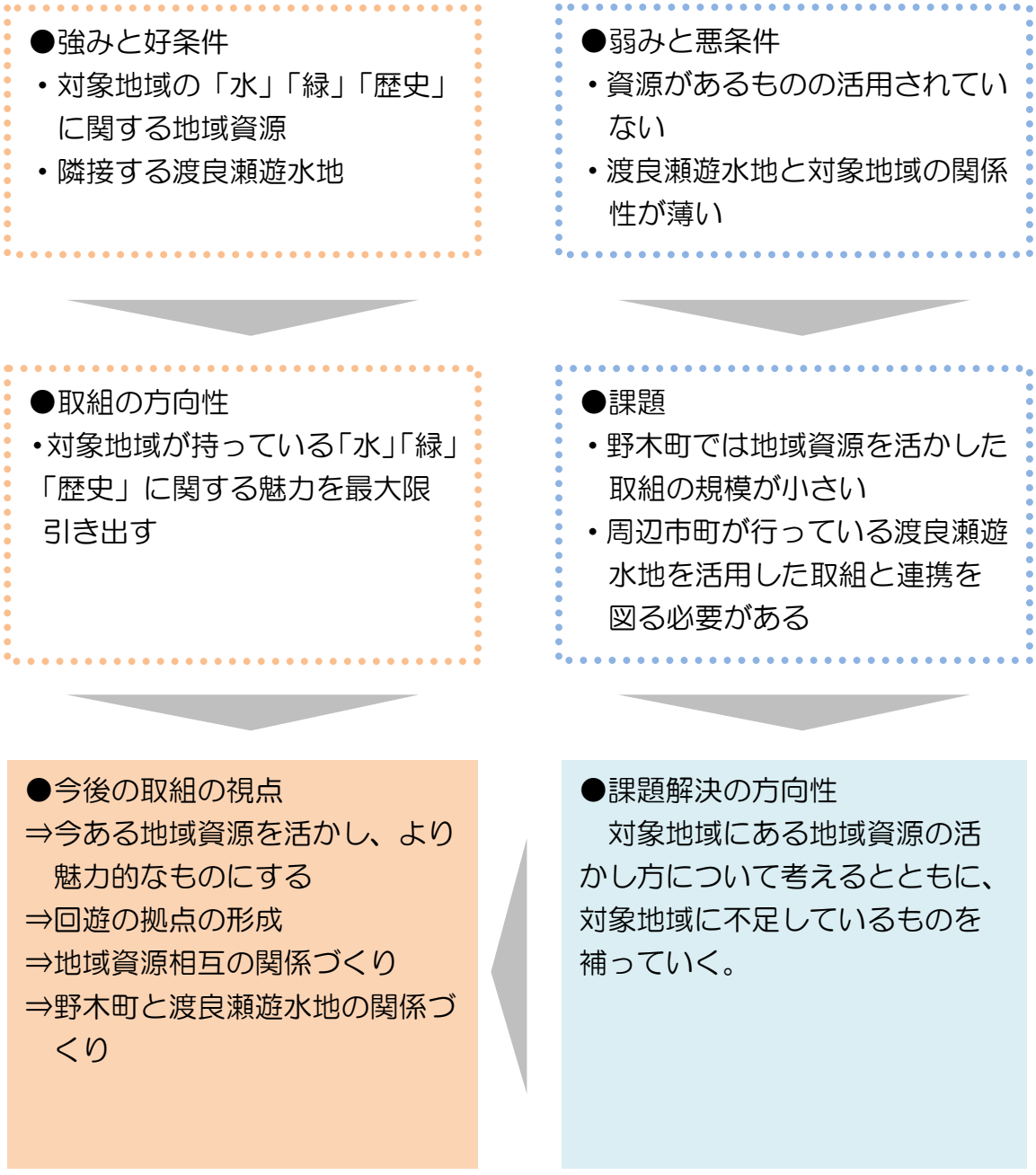



**図 15　まちづくりの課題**

# 3. 水と緑と歴史のまちづくり

## 3.1. “ふるさと”を象徴するまちづくり

野木町の水と緑と歴史の地域資源を活かして、「住み続けたい」「何度も訪れたい」と思える心の“ふるさと”を目指します。

### 水と緑と歴史のふるさとプラン

「水と緑と歴史のふるさとプラン」における“ふるさと”とは、水と緑と歴史をキーワードとして発展させたもので、思川沿いの豊かな自然や遊水地内の多くの生物を育む“ふるさと”であり、また野木町煉瓦窯がかつて煉瓦製造の拠点としての“ふるさと”であったことに由来します。

本プランにおいては、“ふるさと”という視点で地域を見直し、広めていくことで、「水のふるさと」「緑のふるさと」「歴史のふるさと」のまちづくりを進めていきます。

野木町にある水と緑と歴史の地域資源を活用して、学習や観光の拠点づくりを図り、“ふるさと”をみがくことで、町民にとって“いつまでも住み続けたいふるさと野木町”、来訪者にとって“何度も訪れたいふるさと野木町”の実現を目指すためのプランです。

**野木町の水と緑と歴史の地域資源と“ふるさと”**

野木町には、水の資源として思川の美しい流れ、緑の資源として思川周辺を中心にひろがるありのままの自然の風景、野木町の豊かな歴史を彩る神社・仏閣・近代化産業遺産の資源があります。そのような、水と緑と歴史の資源が原風景となり、町民にとって愛着の持てる“ふるさと”となっています。

さらには、渡良瀬遊水地の手つかずの豊かな自然は、町の鳥・ふくろう等の生き物のねぐらともなっています。また、野木町煉瓦窯はかつて煉瓦製造の拠点としても活躍しました。

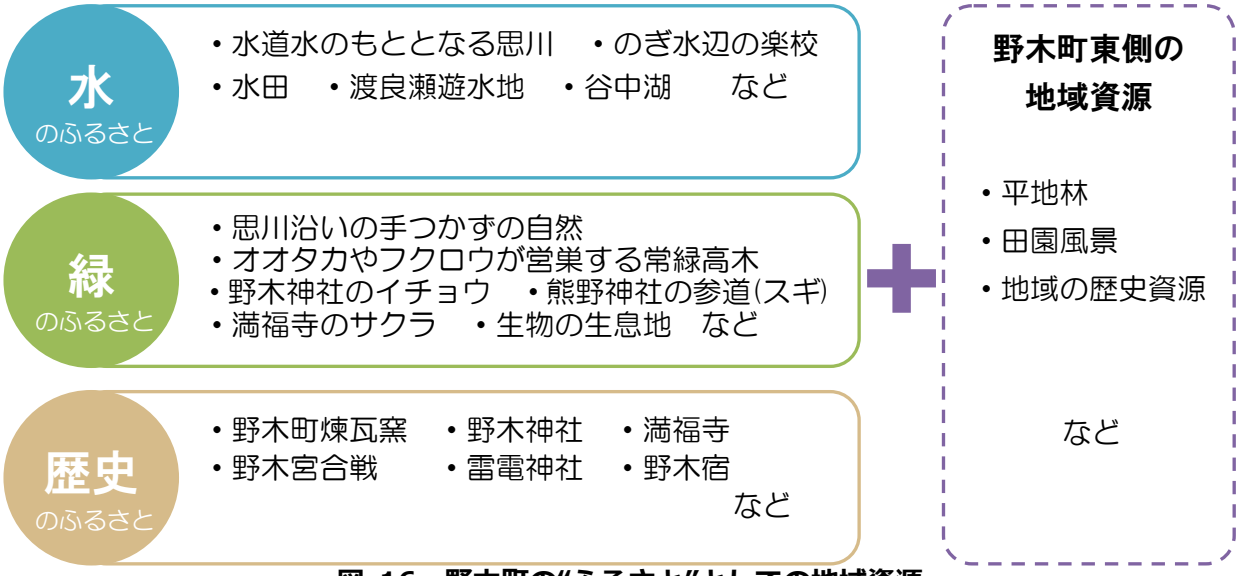



**図 16　野木町の“ふるさと”としての地域資源**

## 「水と緑と歴史のふるさとプラン」の考え方

“ふるさと”という視点で地域を見直し、広めていくことで、「水のふるさと」「緑のふるさと」「歴史のふるさと」のまちづくりを進めていきます。

＜水と緑と歴史の地域資源＞




**“ふるさと　みがき”**

「ふるさとを感じる」「ふるさとを巡る」「ふるさとを守り育てる」の３つの視点で、“ふるさと”をみがいていきます。また、野木町全体において、対象地域と連携した地域資源の活用や、取組を進めます。

**“ふるさと”を感じる：**
“ふるさと”を感じる地域資源を発掘・活用し、学習や観光の拠点をつくります。

**“ふるさと”を巡る：**
豊かな自然と文化財を巡り、地域の魅力を発見します。

**“ふるさと”を守り育てる：**
ありのままの自然や歴史資源を大切にし、ふるさとを守り育てます。

＋

野木町全体の取組：対象地域と連携した地域資源の活用や取組の推進。

## 「水と緑と歴史のふるさとプラン」の目標

**満足度の向上**

町民の住みがいの向上
“いつまでも住み続けたいふるさと野木町”の実現

来訪者の好感度の向上
“何度も訪れたいふるさと野木町”の実現

**図 17　“ふるさと”を象徴するまちづくり**

## 3.2. “ふるさと” みがきのススメ

野木町の水と緑と歴史にもとづく“ふるさと”を、以下の３つの視点でみがいていきます。

### その１： "ふるさと"を感じる

#### （１） "ふるさと"の発掘と活用

対象地域には、水と緑と歴史に関する地域資源が数多く立地していますが、資源の価値が認識されていない、利用者のための整備が整っていない等の理由から、活用できていない地域資源がたくさんあります。対象地域で“ふるさと”を感じる地域資源を発掘し、町民や来訪者にアピールできるものにみがきあげていきます。

#### （２） 学習や観光の拠点づくり

対象地域には、思川沿いの豊かな自然や国重要文化財である野木町煉瓦窯等の多くの地域資源があります。一方で拠点となる施設がないことから、学習や観光の拠点となる交流センターを設置します。また、新たな施設とともに、現在住民活動が盛んに行われている地域資源については、重点的な整備と活用を図っていきます。さらに相互の連携を高め、“ふるさと”を知り、足を運んでもらえるような仕組みを構築します。

### その２： ”ふるさと”を巡る

#### （１） ”ふるさと”の魅力をつなげる

対象地域にある一つ一つの地域資源は、水と緑と歴史を象徴した資源となっています。しかし、地域資源が南北に点在し、分かりにくく魅力的に見えにくくなっています。拠点施設とあわせて地域資源を相互に連携させたコースを設定することで、多彩な“ふるさと”の魅力をつなぎ、安心して楽しく滞在できる“ふるさと”を目指します。

#### （２） 渡良瀬遊水地周辺の交流促進

対象地域の西側には、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地が隣接しています。しかし、周辺市町との連携が弱く、渡良瀬遊水地を有効活用できていません。渡良瀬遊水地に隣接する他の市町の構想に基づく取組と連携することで、４市２町でのネットワークを形成します。渡良瀬遊水地の保全と活用により、野木町を含めた渡良瀬遊水地の利用促進を目指します。

### その３： ”ふるさと”を守り育てる

#### （１） 町民力により“ふるさと”を守り育てる

町内ではボランティア活動に参加する町民が多く、自然や歴史を活かした個性的な活動が行われています。野木町の自然や歴史資源を活かしたボランティア団体の活動を支援・コーディネートし、団体間の活動の連携や担い手の育成を図り、町民力の強化を図ります。

## 3.3. “ふるさと“ みがきの取組

“ふるさと”みがきのススメを踏まえて、地域資源を活かした次のような取組を進めていきます。

**その１："ふるさと"を感じる**

- （1）“ふるさと”の発掘と活用
  - 取組①　地域資源の魅力を引き出す
  - 取組②　分かりやすい情報の提供
  - 取組③　定期的なイベントの開催
- （2）　学習や観光の拠点づくり
  - 取組①　学習や観光の拠点となる「交流センター」の整備
  - 取組②　「野木町煉瓦窯」「のぎ水辺の楽校」「きらり館」の活用

**その２："ふるさと"を巡る**

- （1）　“ふるさと”の魅力をつなげる
  - 取組①　拠点施設を核としたネットワークの形成
  - 取組②　地域資源へのアクセス方法の確保と情報提供
  - 取組③　レンタサイクルとサイクリングコースの整備
  - 取組④　渡良瀬遊水地の壮大な風景を楽しむビュースポットの確保
  - 取組⑤　歴史的背景や渡良瀬遊水地とのつながりを活かしたコースの設定
- （2）　渡良瀬遊水地周辺の交流促進
  - 取組①　渡良瀬遊水地と対象地域を結ぶアクセスの強化
  - 取組②　４市２町による連携(レンタサイクル事業、周遊コースの連携)
  - 取組③　体験スペースの設置

**その３："ふるさと"を守り育てる**

- （1）　町民力により“ふるさと”を守り育てる
  - 取組①　自然環境の保全と利活用
  - 取組②　フクロウやコウノトリ、トキのふるさとづくり
  - 取組③　活動のネットワークづくり
  - 取組④　まちづくりの担い手育成

**図 18　まちづくりの取組**

## 3.4. 取組の方向性

**その１："ふるさと"を感じる取組**

### （1） "ふるさと"の発掘と活用

#### 取組①　地域資源の魅力を引き出す

対象地域には多くの地域資源があるものの、行ってみようと思える動機付けやその資源ならではの演出ができていないため埋もれてしまっている資源もみられます。

対象地域の各地域資源の歴史や自然の特徴を再認識し、それぞれの魅力を引き出す整備や活用方法を検討していきます。

**取組例**

- 歴史的背景や自然環境の再評価
- レンガや花をテーマにした資源周辺の演出
- 利用者目線に立った使いやすい整備（ベンチ、休憩所等）
- 町民と協働の維持管理

＜地域資源の一例＞



野木神社の参道



野渡橋からみた思川と渡良瀬川



満福寺のサクラ



秋色の街路樹

＜地域資源の一例＞



弁財天



熊野神社の参道

＜取組例＞




野木駅西口の花壇



町民による花壇の整備

## 取組②　分かりやすい情報の提供

町の資源をより知ってもらうために、資源の歴史背景や周辺の見どころなどの情報提供が必要です。

対象地域内の地域資源の場所や内容など、来訪者に対して分かりやすい情報を提供します。

**取組例**

- 各地域資源への説明看板の設置
- 地域資源についての情報を提供するためのパンフレット作成





野木宿に関する説明看板




野木町マップ(野木駅)

## 取組③　定期的なイベントの開催

町民や来訪者の対象地域への関心を高めることが必要です。

対象地域において、季節に応じた内容や歴史や自然の資源間で関連性のあるイベントを開催し、参加しよう、また訪れようと思ってもらえるような、愛好者やリピーターを増やしていきます。

**取組例**

- 地域内のまちあるきイベント
- 芋煮会、生き物観察会等

＜野木町で行われているイベントの一例＞



ホタル鑑賞会(水辺の楽校)




ひまわりフェスティバル



渡良瀬遊水地でのスカイスポーツ
(バルーン)



野木神社の提灯もみ

## （2） 学習や観光の拠点づくり

### 取組① 学習や観光の拠点となる「交流センター」の整備

野木町の学習や観光の拠点をつくりだすために、野木町煉瓦窯に併設して、交流センターを設置します。

また、交流センターに野木町から渡良瀬遊水地へアクセスする際の入口としての機能を持たせることで、野木町と渡良瀬遊水地間の回遊性を高めます。

**交流センターの活用例**

- 煉瓦窯や渡良瀬遊水地の学習研修
- 観光交流の場
- 地場産の展示販売
- 食と休憩の場
- 町民活動の発表の場
- イベントの場
- 体験型レクリエーションの場
- 交流センターを中心とした周遊コースの設定



学習研修

### 取組② 「野木町煉瓦窯」「のぎ水辺の楽校」「きらり館」の活用

対象地域を代表する３つの拠点の機能を充実させます。

**＜野木町煉瓦窯＞**

国指定文化財に指定されている野木町煉瓦窯は、野木町を代表する歴史的な資源です。平成 26 年度に改修が完了したことから、煉瓦製造の歴史やホフマン式窯の特徴を活かして、煉瓦窯の魅力を伝える取組を行います。



野木町煉瓦窯

**野木町煉瓦窯の活用例**

- 煉瓦窯周辺の整備
- 煉瓦窯の歴史・修復の過程を伝える展示紹介
- ガイドボランティアによる案内
- イベントの開催（四季に応じたイベント、ビアガーデン、アートイベント等）
- ライトアップやプロジェクションマッピングでの夜間の楽しみの創出

＜対象地域で既に行われている取組＞



煉瓦窯の周辺整備（だいてばこひろば）



ガイドツアー



イベント開催



煉瓦の展示

＜他地域での取組例＞



煉瓦壁面のライトアップの例（横浜市）



広場でのイベント例（横浜赤レンガ倉庫）




名前の刻印

**<のぎ水辺の楽校>**



　のぎ水辺の楽校には、遊歩道が設置されており、渡良瀬遊水地の自然を間近で観察することのできる貴重な場です。しかし、現在は園内マップや、地域内にある資源を来訪者に伝える看板等がないため、その魅力を来訪者に伝えきれていません。

　そのため、案内板の設置や園内マップの配布を行い、来訪者への情報の提供を行います。

**のぎ水辺の楽校の活用例**

- 自然観察会や学校教育の自然環境学習での活用
- 自然地形の展望を活かした環境整備
- 案内板の設置
- 園内マップの作成・配布
- 維持管理活動への町民、企業の参加




水辺の楽校の看板




園内マップの例
（出典：狛江水辺の楽校ホームページ）

**<きらり館>**



　現在のきらり館は、野木町内のボランティア活動の拠点となっており、ものづくりワークショップや活動の展示が行われています。

　今後は、他の地域資源との連携を強めるとともに、野木駅からの来訪者や車での来訪者を迎える場としても取組を進めていきます。

**きらり館の活用例**

- 団体活動の場、活動内容の展示
- 町民間の交流ワークショップ
- レンタサイクルの貸し出し



活動展示



レンタサイクル



町民活動の場

## その２："ふるさと"を巡る取組

### （1）　“ふるさと”の魅力をつなげる

#### 取組①　拠点施設を核としたネットワークの形成

その１（２）で示した、「交流センター」「きらり館」「のぎ水辺の楽校」「野木町煉瓦窯」を拠点として、対象地域内に点在する地域資源をネットワーク化させることで、対象地域の資源の魅力をつなげていきます。

**取組例**

- 散策路の整備
- コース上の休憩所や展望所の確保
- 駐車場の確保

＜コースの一例＞



煉瓦窯周辺のみち



煉瓦積みがあるみち
（熊野神社）

＜対象地域を巡ることで見ることのできる風景＞



日の出(松原大橋)



思川沿いの台地からの眺め



思川の夕景



野木神社と公孫樹（イチョウ）

## 取組②　地域資源へのアクセス方法の確保と情報提供

各地域資源にアクセスしやすいように、アクセスルートを確保するとともに、行き方を分かりやすく情報提供することで、来訪者が各地域資源に訪れやすくします。

**取組例**

- 渡良瀬遊水地につながるアクセス路の整備
- 案内・誘導サインの設置
- 観光マップの配布
- 野木駅からの観光を補助する交通手段（自転車、シャトルバス等）の検討



煉瓦窯から渡良瀬遊水地に
つながる道



現在設置されている案内サイン
(野木町煉瓦窯付近)

## 取組③　レンタサイクルとサイクリングコースの整備

現在、対象地域におけるレンタサイクルは、きらり館で貸し出しているもののみですが、レンタサイクルの拠点を増やすことにより、サイクリングによる地域の周遊性を高めていきます。

また、各地域資源をつなぐサイクリングコースの設定も行います。

**取組例**

- 野木駅や交流センターなど主要な地点でのレンタサイクルの貸し出し、相互乗り入れ
- レンタサイクル貸し出しにあわせた付加価値サービス（双眼鏡の貸し出し等）
- サイクリングコースへの案内・誘導や交通安全の確保



野木駅のレンタサイクル貸し出し所の検討



管理道路のサイクリング

## 取組④　渡良瀬遊水地の壮大な風景を楽しむビュースポットの確保

野木神社や煉瓦窯周辺の思川沿いの台地や松原大橋、野渡橋などからは、渡良瀬遊水地や遠方の山並み、夕日などを見ることができます。

こうしたビュースポットを散策コース上で発掘し、眺めを楽しむ場として休憩施設の設置やマップ等で案内していきます。

**取組例**

- ビュースポットの発掘とマップ等での紹介
- ビュースポットの整備



帰燕の風景



思川の自然



思川沿いの台地からみた遊水地

### 取組⑤　歴史的背景や渡良瀬遊水地とのつながりを活かしたコースの設定

コースの設定を行う際は、ただ地域資源をつなげるだけではなく、歴史的背景や渡良瀬遊水地とのつながりを活かしたストーリー性を持たせたコースの設定を行います。

**取組例**

・町民活動と連携した散策コースづくり

（37 ページから“ふるさと”を楽しむコースの例を紹介します。）

## （2）　渡良瀬遊水地周辺の交流促進

### 取組①渡良瀬遊水地と対象地域を結ぶアクセスの強化

対象地域と渡良瀬遊水地は近接していますが、現在は野渡橋の通行制限等によって、アクセスがしにくくなっています。

今後は、野渡橋の車両の通行により、対象地域と渡良瀬遊水地間のアクセスを強化することで、来訪者が対象地域と渡良瀬遊水地をセットにして周遊できるようにします。

**取組例**

・野渡橋の通行確保

・幹線道路や主要な資源からのアクセス路の整備



野渡橋



野渡橋へつながるアクセス路

### 取組②４市２町による連携(レンタサイクル事業、周遊コースの連携)

現在、レンタサイクルは、きらり館のみで貸し出しを行っており、渡良瀬遊水地側にサイクリングをした場合には、きらり館までレンタサイクルの返却に戻る必要があります。

今後は、４市２町でレンタサイクル事業の連携を行い、対象地域と渡良瀬遊水地間の周遊性を向上させます。また、４市２町で連携し、渡良瀬遊水地を拠点とした周遊コースを設置することで、４市２町も含めた周遊性を向上させます。

**取組例**

・レンタサイクル拠点間の相互乗り入れの調整
・渡良瀬遊水地全体の周遊コースづくり



渡良瀬遊水地内レンタル自転車

### 取組③体験スペースの設置

渡良瀬遊水地は、バルーン等のスカイスポーツが盛んなエリアであり、活動に必要なスペースの整備を行います。

**取組例**

・バルーン体験教室の実施
・交流の場としての活用



スカイスポーツ(バルーン)

## その３："ふるさと"を守り育てる取組

### （1） 町民力により“ふるさと”を守り育てる

### 取組①自然環境の保全と利活用

湿地環境を保全・再生しながら、そこから得られる恵みを持続的かつ適切に利用する“ワイズ・ユース”の考え方を踏まえて、思川沿いや渡良瀬遊水地の豊かな自然環境の保全と利活用に取り組みます。

**取組例**

・小・中学生の環境学習フィールドとして活用
・環境について学ぶ勉強会やワークショップの開催
・町民や企業等と協働の維持管理活動の展開



ホタルの観察

## 取組②フクロウやコウノトリ、トキのふるさとづくり

渡良瀬遊水地の手つかずの豊かな自然は、フクロウのねぐらになっています。今後は、コウノトリやトキの飛来地にもなるよう、里地里山の保全を図るとともに、学びや交流の機会を深めます。

**取組例**

- 遊水地の水辺や森林などの適切な管理、田んぼでの餌場づくりなどの自然環境の保全再生
- 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化
- 自然環境を活かした体験学習と交流活動
- コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムへの参画



野生のフクロウ(野木神社)

## 取組③活動のネットワークづくり

町民の創意工夫による町民活動の活性化を図るとともに、町民活動の連携の輪を強めます。

そのために、団体活動の情報発信、情報交換の促進、協働の取組のプラットフォームとなる組織づくりの検討等を行います。

## 取組④まちづくりの担い手育成

水と緑と歴史のまちづくりを継続的に展開するために、活動の担い手となる町民への意識啓発や小学校教育等との連携、清掃活動や自然観察会などの担い手育成のための場づくりを進めます。

**取組例**

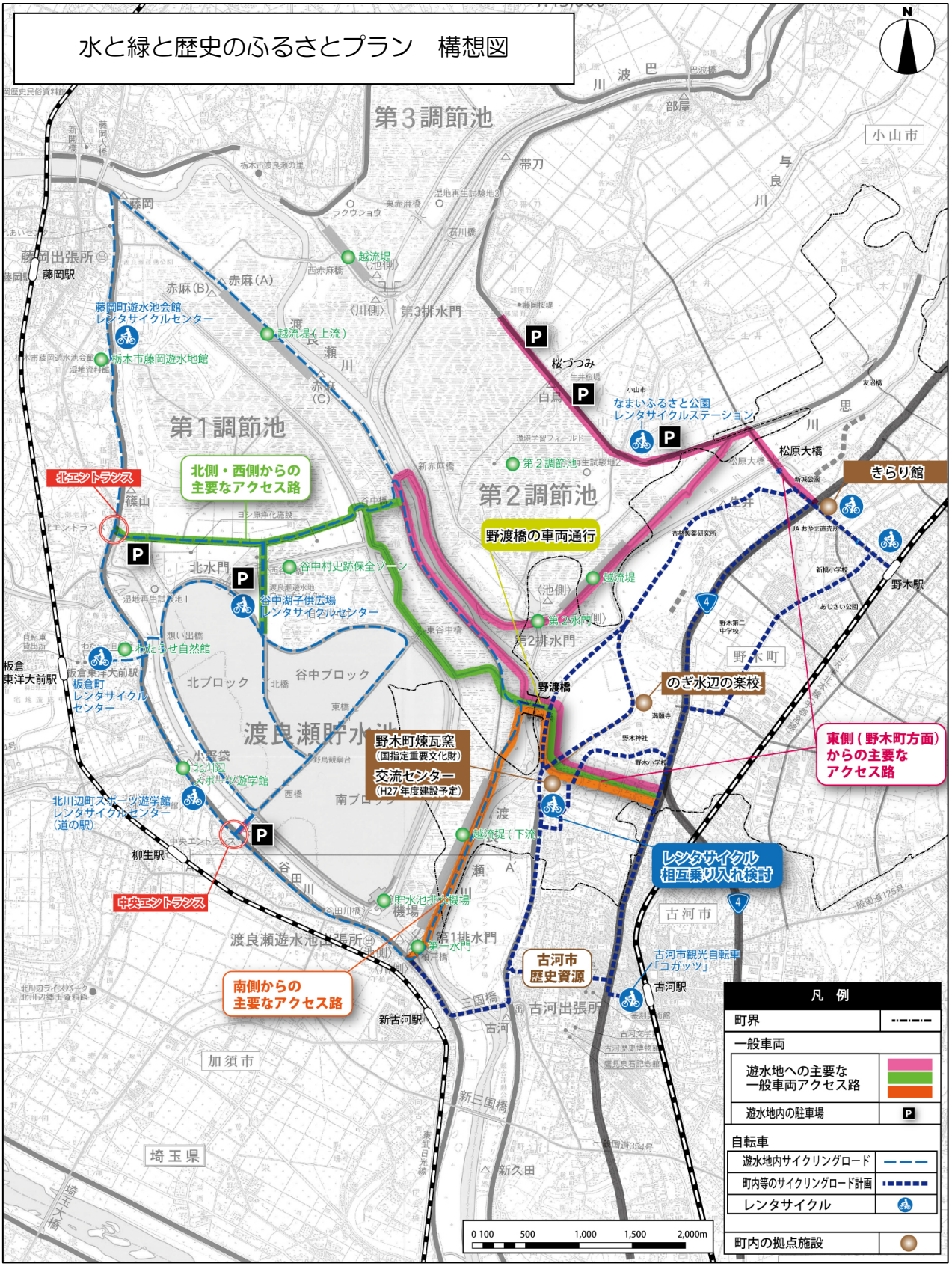
- 野木町のボランティア団体を支援・コーディネートする組織の立ち上げ
- 清掃活動や自然観察会などの担い手育成のための場づくり

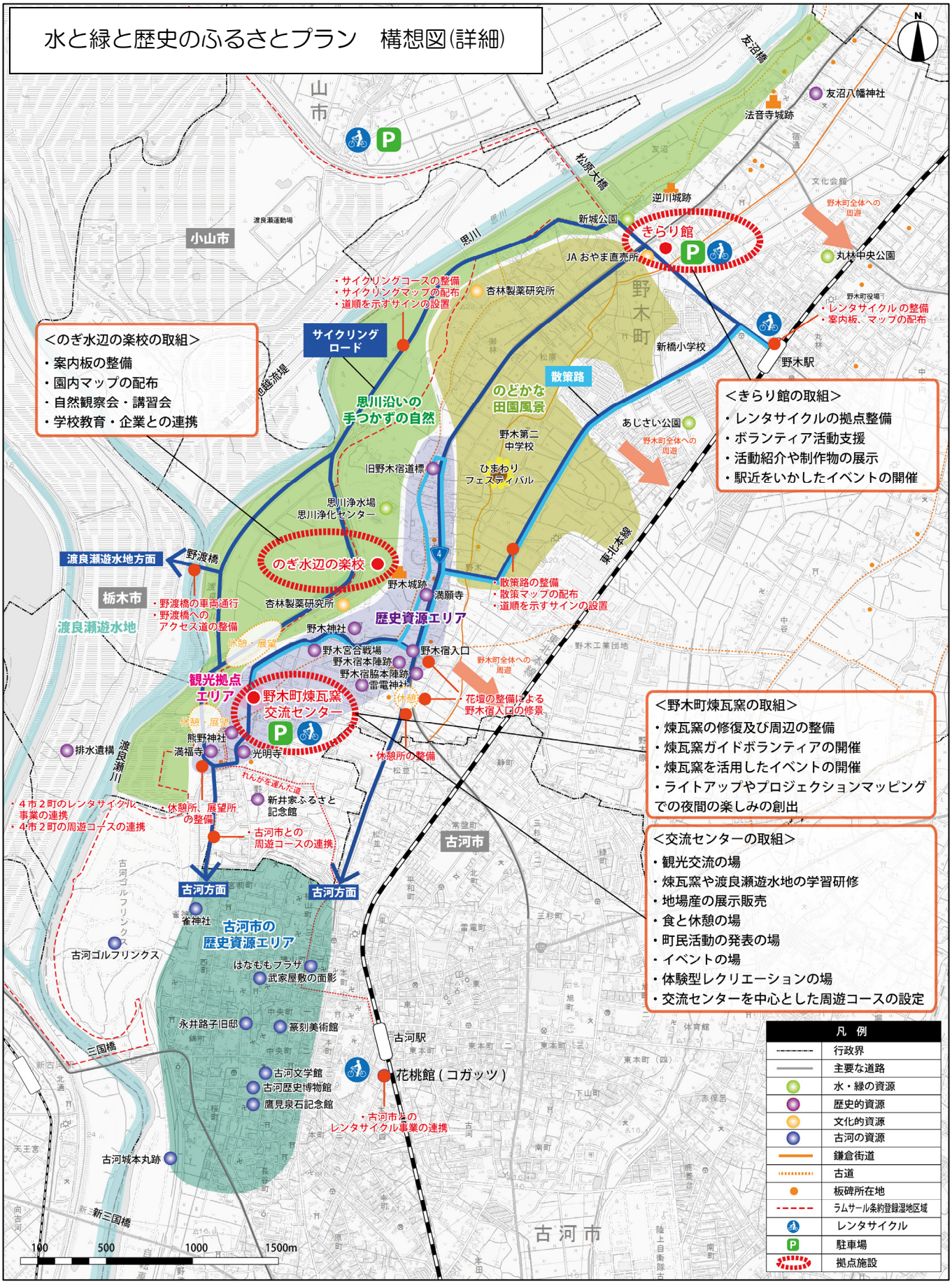


意見交換会の様子

## 3.5. 水と緑と歴史のふるさとプラン　構想図

渡良瀬遊水地内を巡る広域的な取組と、町内の地域資源を中心に巡る取組を構想図としてとりまとめました。




水と緑と歴史のふるさとプラン　構想図(詳細)
N
小山市
栃木市
古河市
野木町
渡良瀬遊水地方面
古河方面
古河方面
友沼橋
友沼八幡神社
法音寺城跡
松原大橋
逆川城跡
新城公園
きらり館
JA おやま直売所
丸林中央公園
野木町全体への周遊
野木町役場
・レンタサイクルの整備
・案内板、マップの配布
新橋小学校
野木駅
<きらり館の取組>
・レンタサイクルの拠点整備
・ボランティア活動支援
・活動紹介や制作物の展示
・駅近をいかしたイベントの開催
・サイクリングコースの整備
・サイクリングマップの配布
・道順を示すサインの設置
杏林製薬研究所
サイクリングロード
<のぎ水辺の楽校の取組>
・案内板の整備
・園内マップの配布
・自然観察会・講習会
・学校教育・企業との連携
思川
渡良瀬運動場
小山市
思川沿いの手つかずの自然
のどかな田園風景
散策路
あじさい公園
野木第二中学校
ひまわりフェスティバル
旧野木宿道標
思川浄水場
思川浄化センター
のぎ水辺の楽校
野渡橋
・野渡橋の車両通行
・野渡橋へのアクセス道の整備
渡良瀬遊水地
野木城跡
満願寺
・散策路の整備
・散策マップの配布
・道順を示すサインの設置
東北本線
歴史資源エリア
野木神社
休憩・展望
野木宮合戦場
野木宿本陣跡
野木宿脇本陣跡
雷電神社
野木宿入口
野木町全体への周遊
観光拠点エリア
野木町煉瓦窯交流センター
・休憩
・花壇の整備による野木宿入口の修景
<野木町煉瓦窯の取組>
・煉瓦窯の修復及び周辺の整備
・煉瓦窯ガイドボランティアの開催
・煉瓦窯を活用したイベントの開催
・ライトアップやプロジェクションマッピングでの夜間の楽しみの創出
休憩・展望
熊野神社
満福寺
光明寺
・休憩所の整備
排水遺構
渡良瀬川
・4市2町のレンタサイクル事業の連携
・4市2町の周遊コースの連携
・休憩所、展望所の整備
新井家ふるさと記念館
・古河市との周遊コースの連携
古河市
<交流センターの取組>
・観光交流の場
・煉瓦窯や渡良瀬遊水地の学習研修
・地場産の展示販売
・食と休憩の場
・町民活動の発表の場
・イベントの場
・体験型レクリエーションの場
・交流センターを中心とした周遊コースの設定
雀神社
古河市の歴史資源エリア
古河ゴルフリンクス
はなももプラザ
武家屋敷の面影
永井路子旧邸
篆刻美術館
三国橋
古河駅
古河文学館
古河歴史博物館
鷹見泉石記念館
花桃館(コガッツ)
・古河市とのレンタサイクル事業の連携
古河城本丸跡
新三国橋
古河市
100
500
1000
1500m
凡　例
行政界
主要な道路
水・緑の資源
歴史的資源
文化的資源
古河の資源
鎌倉街道
古道
板碑所在地
ラムサール条約登録湿地区域
レンタサイクル
駐車場
拠点施設

## 3.6. 関連プロジェクトにおける取組の推進

下表に対象地周辺において現在進行しているプロジェクトや町民との意見交換会などから提案があった関連プロジェクトを示しました。

これらのプロジェクトと連携しながら、水と緑と歴史のまちづくりの取組を具体化していきます

**表 1　関連プロジェクト**

| 分類・箇所 | | プロジェクト内容 | 対応するススメ（19 ページ参照） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | その1(1) | その1(2) | その2(1) | その2(2) | その3(1) |
| 資源の魅力アップ | 野木町煉瓦窯 | ・野木町煉瓦窯の修復（野木町煉瓦窯の改修事業） | | ○ | | | |
| | | ・野木町煉瓦窯の周辺整備（煉瓦窯周辺整備事業計画）<br>…外構整備、ライトアップや花で演出 | | ○ | | | |
| | | ・煉瓦窯の説明・案内方法の検討（ガイドツアー）<br>…旧谷中村や遊水地方面の関連資源（排水遺構等）との連携 | | | | | ○ |
| | | ・煉瓦窯を活用したイベント<br>…ビアガーデン、アート展、ミニコンサート等の実現可能なイベントを検討 | | ○ | | | |
| | | ・煉瓦窯へのアクセス路整備<br>…県道から大型バスが入れるように拡幅整備 | | | ○ | | |
| | 野木神社 | ・自然観察スポット<br>…フクロウ、オオタカ等の野生生物、イチョウ、ケヤキ、アジサイ、サクラ、ニリンソウ等の植物 | | | | | ○ |
| | | ・休憩・展望施設<br>…野木宮合戦の歴史紹介、神社裏からの日光連山や遊水地の眺望の活用 | ○ | | ○ | | |
| | 満福寺 | ・歴史と花の観賞<br>…古河公方の墓、猪苗代兼載の墓、春のサクラ、秋のカエデ<br>板碑 | ○ | | | | |
| | ふるさと記念館 | ・煉瓦の歴史の紹介 | ○ | | | | |
| | 野木城 | ・野木城の環境整備<br>…見晴台の整備、解説板の設置 | ○ | | | | |
| | 歴史文化資源 | ・歴史文化資源めぐり<br>・銘木巡り<br>・祭りの活用 | | | ○ | | |

| 分類・箇所 | | プロジェクト内容 | 対応するススメ（19 ページ参照） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | その1（1） | その1（2） | その2（1） | その2（2） | その3（1） |
| 資源の魅力アップ | のぎ水辺の楽校 | ・環境整備<br>…展望所、木道や池の整備 | | ○ | | | |
| | | ・周辺整備<br>…「はくうんの木公園」整備、冬水たんぼ | ○ | | ○ | | |
| | | ・案内や情報の充実<br>…花や植物の説明板、園内マップ作成 | | ○ | | | |
| | | ・自然観察会・講習会<br>…ホタルの鑑賞（ヘイケボタル、ゲンジボタル）、ザリガニ | | ○ | | | |
| | | ・学校教育での活用<br>…小中学校の学習 | | ○ | | | |
| | | ・企業との連携<br>…市内企業と連携した保全活動 | | ○ | | | |
| | 交流センター（平成27 年度建設予定） | ・学習・研修機能の導入<br>…煉瓦窯の歴史や渡良瀬遊水地の自然環境を活かした社会科見学や教育・学習の場として活用 | | ○ | | | |
| | | ・特産品の買い物や食事機能の導入<br>…地場産の展示販売、食と休憩施設 | | ○ | | | |
| | | ・町民と来訪者の交流機能の導入<br>…町民活動の発表、イベント開催 | | ○ | | | |
| | | ・体験型レクリエーションの検討<br>…レンガ焼成体験窯、窯焼きピザ | | ○ | | | |
| | | ・サイクルステーション<br>…レンタサイクル、ロードバイクのサイクルラック、チューニング設備 | | ○ | | | |
| | | ・災害時にも活用できる施設計画 | | ○ | | | |
| | きらり館 | ・ボランティア活動支援、ワークショップ | | ○ | | | |
| | | ・活動紹介や制作物の展示 | | ○ | | | |
| | | ・広場を活用したイベント企画・開催 | | ○ | | | |
| アクセス・ネットワークの向上 | 野渡橋 | ・野渡橋の車両通行 | | | | ○ | |
| | サイクリングロード | ・サイクリングロード・散策路の整備<br>…古河、小山方面との連絡、サインや表示等の整備、夜間の安全確保（照明灯） | | | ○ | ○ | |
| | | ・サイクリングマップ作成 | | | ○ | | |
| | | ・環境学習の分散配置、中学生によるガイド<br>・杏林製薬の跡地活用 | | | ○ | | |
| | レンタサイクル | ・遊水地内の他拠点との相互貸し出しの検討<br>…野木⇔古河⇔新古河、野木⇔小山⇔古河、野木⇔栃木市⇔古河市 | | ○ | ○ | | |

| 分類・箇所 | | プロジェクト内容 | 対応するススメ（19ページ参照） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | その1（1） | その1（2） | その2（1） | その2（2） | その3（1） |
| アクセス・ネットワークの向上 | 野木駅 | ・駅前のレンタサイクルの検討 | | | ○ | ○ | |
| | | ・案内板、マップの配布　…見所紹介 | | | ○ | | |
| | | ・シャトルバスやタクシー等での資源へのアクセス向上 | | | ○ | | |
| | 散策路 | ・町内の散策路、ジョギングコース<br>…一級幹線８号線の拡幅事業を実施<br>…水辺の楽校、野木神社、煉瓦窯を結ぶネットワーク形成 | | | ○ | | |
| | | ・歩行空間整備（歩道整備、カラー舗装等） | | | ○ | | |
| | | ・休憩施設・ビュースポット整備<br>…満福寺周辺の高台や煉瓦窯周辺の土手からの眺め、富士山や日光連山、筑波山等の眺め、野渡橋からの朝日・夕日の眺め、松原大橋から日光方面の眺め<br>…トイレ・ベンチ・木陰等の確保、煉瓦を使った休憩施設 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | ・観光案内板の設置<br>…史跡、文化財等の説明板の設置 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 日光街道野木宿 | ・日光街道野木宿を活かした玄関口整備<br>…お休み処や野木宿の説明板（レトロ風）、煉瓦窯等の案内<br>…花壇の整備・維持管理 | ○ | ○ | | | |
| | 花を活かした環境整備 | ・花めぐり<br>…寺社、杏林製薬付近のサクラ、フジ | | | ○ | | |
| | | ・オープンガーデン（庭先の花壇や道路沿道の緑化）の整備<br>…オープンガーデンマップの作成及び窓口の設置、散策路沿いの建築物等の修景 | ○ | | | | |
| | | ・花と緑いっぱい運動の展開<br>…ボランティア団体等への花き資材等の提供、花の普及啓発<br>…生垣設置費用助成事業、緑地協定の締結、苗木の配布等 | ○ | | | | |
| 活動推進・人材育成 | | ・活動のプラットフォームとなる組織づくりや人材育成<br>…（仮称）のぎキラリ★サポーターの検討<br>…ガイドボランティアの育成、文化財案内ボランティアガイド養成講座の実施（野木町煉瓦窯を愛する会） | | | | | ○ |
| | | ・町内外への情報発信<br>…「国指定重要文化財・野木町煉瓦窯」や「ラムサール条約登録湿地・渡良瀬遊水地」等のネームバリューを活かした町内外へのＰＲ<br>…ＣＭコンテストや映画・ドラマ・雑誌等のロケ地の誘致<br>…ソーシャルメディアの活用による、情報発信 | | | | | ○ |
| 渡良瀬遊水地４市２町の連携 | | ・渡良瀬遊水地保全・利活用協議会（４県４市２町）を通じて、周辺市町との協働プロジェクトの検討・実施 | | | | ○ | |

## 3.7. “ふるさと”を楽しむコースの例

対象地域の水と緑と歴史を堪能できるコースを例示します。

### （1） 行けばわかる、煉瓦窯のヒミツコース

野木町煉瓦窯では、思川の「川砂」と渡良瀬川の「粘土」を原料にして、良質な煉瓦が焼かれていました。この歴史に着目し、渡良瀬遊水地と煉瓦窯の関係性について感じながら巡ることのできるコースを設定しました。このコースは、野渡橋が開通すれば、自転車でも車でも巡ることのできるコースです。



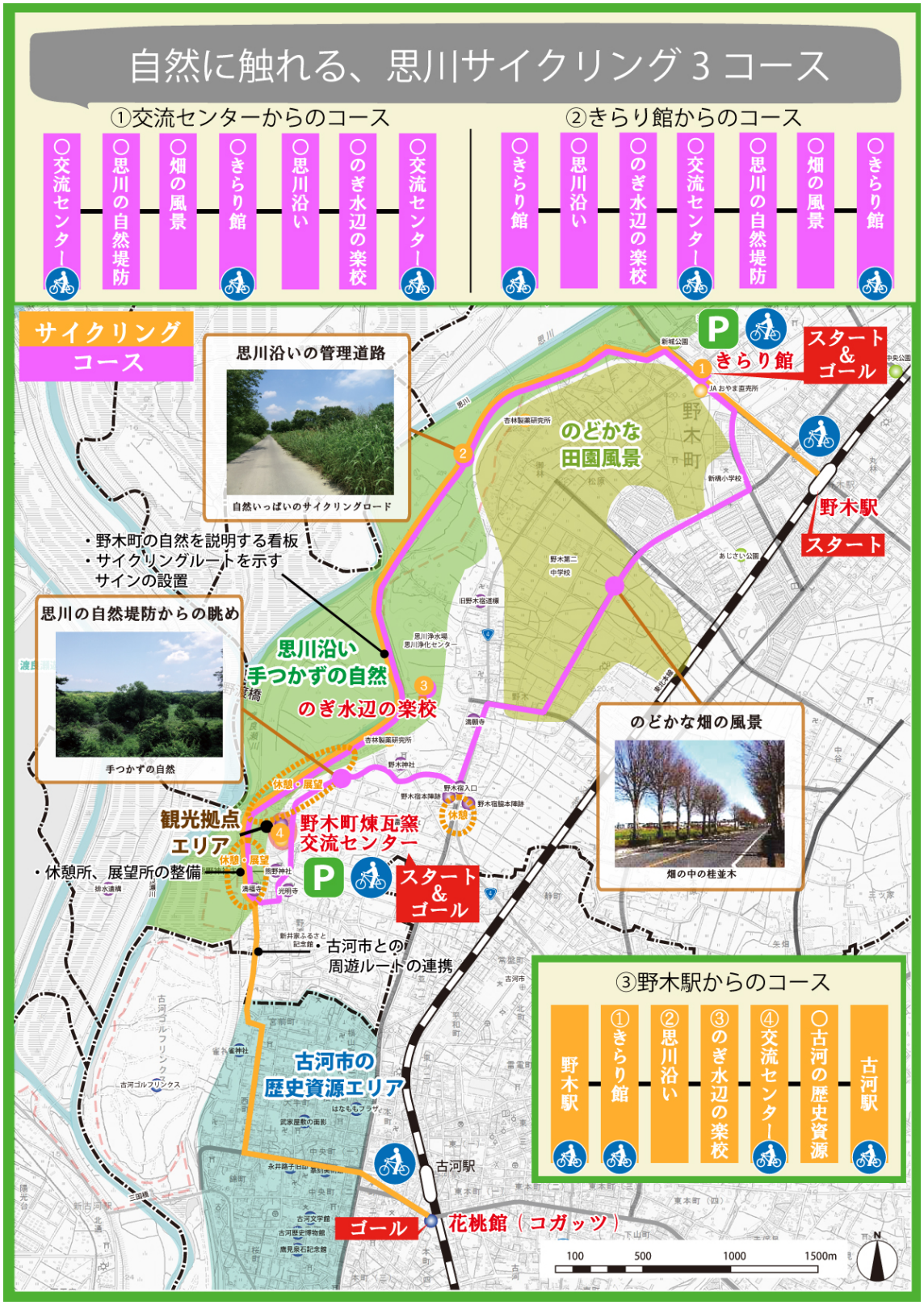
## （2） 巡って健康、歴史コース

交流センターを拠点として歴史資源エリアを歩いて巡ることのできるコースを設定しました。一周約４ｋｍのコースになっているため、歴史に興味のある人だけではなく、ウォーキングによる健康づくりをしたい人にも最適のコースとなっています。



### （3） 自然に触れる、思川サイクリング３コース

対象地域の自然を感じながらサイクリングできるコースの設定を行いました。車での来訪者は、交流センター・きらり館に駐車し、自転車に乗り換えることができます。電車での来訪者は、野木駅からサイクリングを開始し、古河駅に自転車を返却できることを想定し、野木の自然も古河の歴史資源も見てまわることができます。



# 4. 水と緑と歴史のまちづくりの推進のために

## 4.1. コラボレーションによるまちづくり

野木町では「のぎ未来プラン」の実現へ向け、町民と行政による協働のまちづくりを目指しています。『水と緑と歴史のふるさとプラン』の推進においても、同様に協働のまちづくりの視点が重要であり、町民が主役となる取組を進めていくことが必要です。

また、地域の生活を支える産業との連携も重要な視点として考えられ、町民と合わせて、農業等を含めた企業等との協働によるまちづくりを推進することにより、地域の魅力アップを促進することが期待できます。

そのため、町民・企業等、行政が、それぞれの役割を的確に担いつつ、『水と緑と歴史のふるさとプラン』の推進に向けて一丸となって取り組むことにより、取組や活動の継続と向上（スパイラルアップ）を図ることが重要です。

**町民**

基本構想を推進する主役です。

これまでの様々な取組・活動を活かしつつ、基本構想の推進に向けて、新たな取組へと展開していくことが求められます。

- 現在の取組・活動を基調とした活動団体相互の連携強化（ネットワーク化）
- 取組・活動の町内外への積極的なアピールによる参加者・協力者の増強（情報発信）
- 公的な支援や民間協力を得るための働きかけの強化（提案）

**企業等**

地域の活動を様々な形で支援しながら地域への貢献を目指す担い手です。

農業等を通じた地場産品の活用や自社製品技術のＰＲを通じて、地域とのつながりを強めていくことが求められます。

- 特産品開発・販売・ＰＲの促進（魅力創造）
- 企業の特色を活かした体験・見学・情報発信の場の提供（産業観光）
- 地域活動への参加・協力（地域貢献）

**行政**

基本構想の進捗管理を適切に行う調整役です。

町民や企業等の取組・活動を持続していくために必要な支援・アドバイスを行うことが求められます。

- 構想推進支援のための一元窓口の設置（支援・推進体制）
- 構想推進における必要な施設整備等の実施（環境整備）
- 町外等へのプロモーション支援（広報）

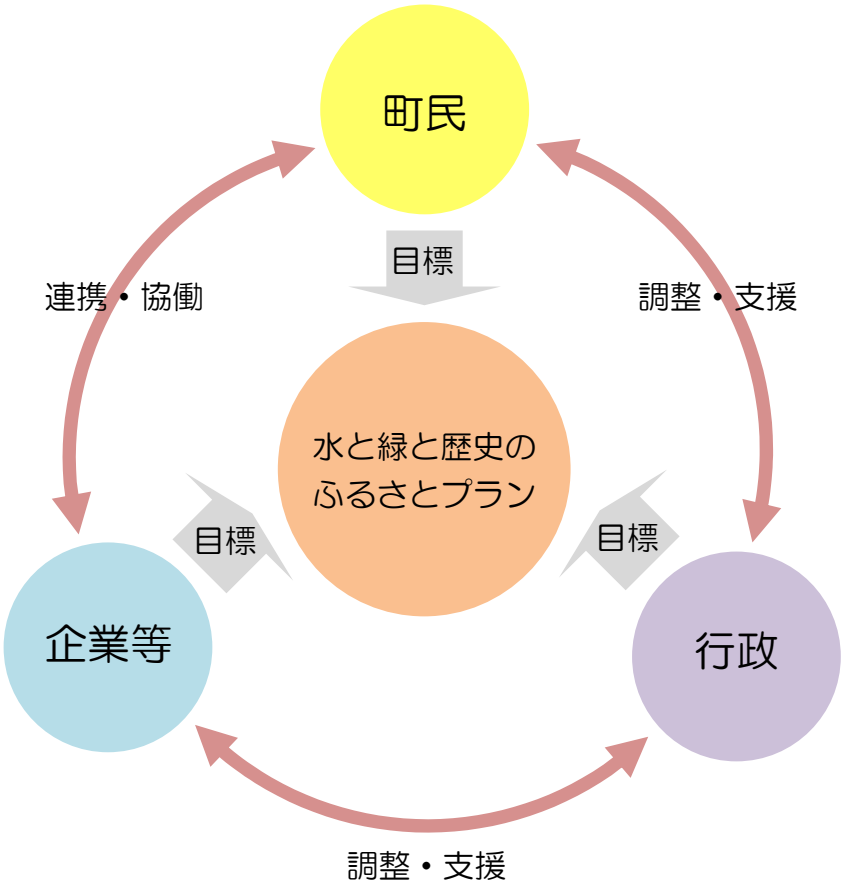



**図 19　地域資源を活かした協働のまちづくりイメージ**

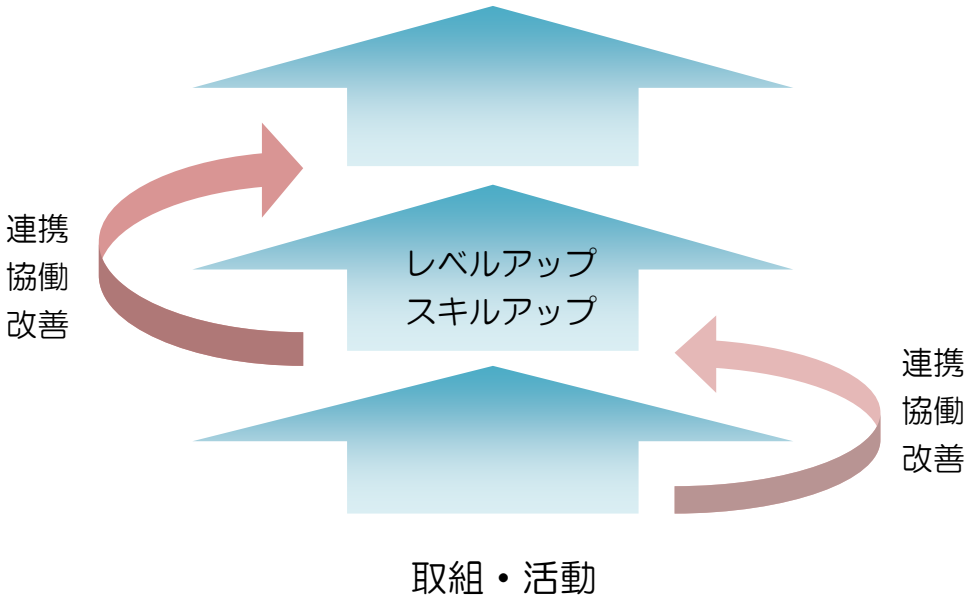



**図 20　取組・活動のスパイラルアップイメージ**

## 4.2. 野木の魅力の情報発信

### （1） 情報発信の考え方

情報発信の方法（プロモーション）には、【外部】と【内部】に向けた２つの方向性があります。

野木町の地域資源の現状を広めていくためには、【外部】向けにプロモーションするだけではなく、**【内部】でキラリと光る素材にみがきあげる必要**があると考えます。【内部】である野木町民に向けた、**「キラリと光る地域資源化と情報発信」**を促すプロモーションから、【外部】に向けた情報発信へとつなげていきます。




**図 21　情報の発信について**

### （2） 情報発信の取組例

情報発信の方法としては、次のような方法が考えられます。紹介する内容や対象者に応じて適切な方法により情報発信を行います。

- 多様な趣味に対応できる季節の旬な情報の蓄積とパンフレット等の紹介。
- 町の広報やホームページ等で取組状況を紹介。
- 野木町の魅力や楽しみ方をプロモーションビデオ等で紹介。
- 地域資源を活用した映画や雑誌等の撮影の誘致による知名度の向上。
- ソーシャルメディアの活用による情報発信。

# 資料編

## 資料編　　目　次


(1)　庁内策定委員会 ..... 43
(2)　パブリックコメント ..... 43
(3)　意見交換会 ..... 44
1)　実施概要 ..... 46
2)　意見交換会提案 ..... 46
・A コーステーマ：来訪者と季節に合わせたコースづくり…… 46
・B コーステーマ：家族で楽しむ野木町いいとこどり…… 47
・C コーステーマ：自然と歴史の２つのコース…… 48


思川と渡良瀬川の合流地点



思川と渡良瀬川の合流地点を野渡橋から撮影しました。野木町の豊かな自然をつくりだす思川と、広大な渡良瀬遊水地へと続く渡良瀬川の合流地点は、野木町の特徴的な風景をつくりだしています。

# 資料編

## 策定の経緯

### （1） 庁内策定委員会

基本構想の策定にあたっては、関係課が所管する事業や取組を踏まえて、基本構想策定に係る必要な検討を行い、事業や取組の具体的な提案を行うことを目的とし、庁内策定委員会を開催しました。

**表 2　庁内策定委員会の開催概要**

| 回 | 日程 | 委員会の内容 |
|---|---|---|
| 第１回 | 平成２６年　７月　２日 | ・庁内策定委員会の設置趣旨と進め方<br>・水と緑と歴史のまちづくり基本構想の検討について<br>・野木町の現状について |
| 第２回 | 平成２６年　８月１９日 | ・煉瓦窯特別公開来訪者ニーズ調査結果の報告<br>・まちづくりの課題と取り組みの方向性<br>・町民との意見交換会（ワークショップ）の計画 |
| 第３回 | 平成２６年１０月１６日 | ・第１回町民との意見交換会（ワークショップ）の結果<br>・水と緑と歴史のまちづくりプロジェクトの検討 |
| 第４回 | 平成２６年１１月１４日 | ・第２回町民との協議（ワークショップ）結果<br>・水と緑と歴史のまちづくり基本構想（素案）<br>・基本構想策定に向けた今後のスケジュール |
| 第５回 | 平成２６年１２月１５日 | ・水と緑と歴史のまちづくり基本構想（素案） |
| 第６回 | 平成２７年　２月１８日 | ・パブリックコメントの意見と対応<br>・水と緑と歴史のふるさとプラン（案）<br>・パンフレット |

### （2） パブリックコメント

基本構想の内容に広く町民の意見を取り入れるために、パブリックコメントによる意見募集を行いました。

**表 3　パブリックコメントの実施概要**

| | 意見募集期間 | 意見提出結果 |
|---|---|---|
| パブリックコメント | 平成２７年１月５日～<br>平成２７年２月２日 | 意見提出者数６名、意見件数３７件 |

## （3） 意見交換会

### 1） 実施概要

基本構想の策定にあたり、野木町で活動する団体参加者による意見交換会を２回開催しました。

第一回意見交換会では地域資源の掘り起しと活用に関する意見出しを行い、第２回意見交換会では野木町を周遊するモデルコースの作成とそこでの取組について検討しました。

**表 4 意見交換会の開催概要**

| 回 | 日程 | 参加者 | 意見交換会の内容 |
|---|---|---|---|
| 第１回 | 平成２６年　９月１７日 | 22 名 | 地域資源の掘り起こしと活用を考える |
| 第2回 | 平成２６年１０月２８日 | 16 名 | モデルコースと取組を考える |



**図 22　意見交換会の様子**

意見交換会参加団体の活動内容を以下に示します。

**表 5　各団体の活動内容**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 野木地域まちづくり協議会 | ・野木町煉瓦窯に関わる取組を数多く実施<br>・野木町煉瓦窯の修復完成後は、周辺整備と利活用計画に取り組んでいく。 |
| 野木町煉瓦窯を愛する会 | ・平成２２年度に発足し、１６名～１８名のメンバーで活動。<br>・主な活動は、毎年行われる野木町煉瓦窯の公開に合わせたガイドボランティア<br>・その他、煉瓦造建造物（西堀酒造）等の調査、煉瓦窯の記録保存等を実施 |
| のぎ水辺の楽校応援倶楽部 | ・水辺の楽校の維持管理活動<br>・ホタルの鑑賞会の実施<br>・発足当時は、少人数で整備を行っていったが、その後メンバーが増え、現在は５０人程度 |
| 野木宿はないっぱい推進会 | ・平成２２年度に国土交通省、野木町、野木宿はないっぱい推進会の間で協定を結び、活動を開始<br>・古河市につながるバイパスを改修した際にできた空き地で、主に花の維持管理活動を実施 |
| 野木町の自然環境をいかす会 | ・平成２５年度に行われた町民大学をきっかけに会が発足<br>・今年度からは１０人のメンバーで活動を開始<br>・渡良瀬遊水地周辺の自然環境の活用、情報発信、連続講座、サイクリングマップづくり、サイクリングルート・案内板、休憩場所等の提案の取組 |

（野木町資料及び意見交換会での発言を基に作成）

### 2） 意見交換会提案

意見交換会では３つのモデルコースの作成を行いました。水と緑と歴史の地域資源を活かした多くのキラリと光るアイデアが提案されました。

＜Ａ班作成モデルコース＞



＜Ｂ班作成モデルコース＞


Ｂ班コーステーマ：家族で楽しむ野木町いいトコどり
●ターゲット：　都市部（東京・埼玉）のファミリー層
渡良瀬遊水地
野渡橋
のぎ水辺の楽校
野木町煉瓦窯
交流センター
・看板による園内の案内
・駐車場、トイレの整備
・ドジョウとり、夏のホタル観察の開催
都市部からの
車での来訪者
・車での来訪者のための、駐車場の整備
・レンタサイクルの整備
・展示スペース、学習スペース、飲食できるスペースの整備
・季節ごとや月ごとのイベントを行い、リピーターをつくりだす
・交流センターに、まちの駅のような機能を持たせる
（来訪者が、お土産・農産品・飲食品と出会える場所）
・煉瓦を焼く体験イベントの開催
・制作した煉瓦の販売
＜トライアングルコース＞
…拠点資源
…周遊コース
コースのキャッチフレーズ
野木トライアングル
凡　例
行政界
主要な道路
水・緑の資源
歴史的資源
文化的資源
文化財（野木町文化財マップより）
古河の資源
鎌倉街道
古道
板碑所在地
ラムサール条約登録湿地区域
松原大橋
逆川城
新城公園
きらり館
JA おやま直売所
杏林製薬研究所
新橋小学校
野木駅
あじさい公園
野木第二中学校
旧野木宿道標
思川浄水場
思川浄化センター
野木城
満願寺
野木神社
野木小学校
乗馬クラブ
排水遺構
熊野神社
古河ゴルフリンク
武家屋敷の面影
はなももプラザ
永井路子旧邸
篆刻美術館
古河駅
三国橋
古河文学館
古河歴史博物館
鷹見泉石記念館
花桃館（コガッツ）
古河城本丸跡
新三国橋
古河市
渡良瀬運動場
思川
渡良瀬川
100
500
1000
1500m
N

＜C班作成モデルコース＞


C班コーステーマ：　自然と歴史の２つのコース
●ターゲット：　歴史散策…ウォーキング、自然散策…サイクリング
新赤麻橋
桜堤
渡良瀬運動場
松原大橋
ＪＡおやま直売所…
お土産に野木の新鮮な野菜が購入できる。
新　公園
きらり館
JA おやま直売所
杏林製薬研究所
思川
第二調節池越流堤
整備道路沿い…
四季折々の変化が楽しめる
ＪＡおやま直売所との連携
野木駅
サイクリングコース
あじさい公園
野木第二中学校
旧野木宿道標
思川浄水場
思川浄化センター
渡良瀬遊水地
のぎ水辺の楽校
野木城
満願寺
展望台の整備
東北本線
野渡橋
杏林製薬研究所
谷中村と野木町の関係性を伝える場
野木神社
野木小学校
・煉瓦窯の資料の展示
・物産館や売店等
野木町煉瓦窯
交流センター
乗馬クラブ
花の植栽によっておもてなしする
熊野神社
満福寺
光明寺
渡良瀬川
新井家ふるさと記念館
4号線沿いの町有地…
駐車場として活用
ウォーキングコース
古河市
雀神社
古河ゴルフリンクス
はなももプラザ
武家屋敷の面影
永井路子旧邸
篆刻美術館
古河駅
三国橋
古河文学館
古河歴史博物館
鷹見泉石記念館
花桃館（コガッツ）
古河城本丸跡
新三国橋
古河市
＜自然コース＞
…拠点資源
…サイクリングコース
＜歴史コース＞
…歴史資源
…ウォーキングコース
コースのキャッチフレーズ
手つかずの自然
凡　例
行政界
主要な道路
水・緑の資源
歴史的資源
文化的資源
文化財（野木町文化財マップより）
古河の資源
鎌倉街道
古道
板碑所在地
ラムサール条約登録湿地区域
100
500
1000
1500m
N




水と緑と歴史のふるさとプラン　（発行　平成27年3月）
【野木町総合政策部 政策課】〒329-0195　栃木県下都賀郡野木町大字丸林571番地
TEL:０２８０－５７－４１０１　　FAX：０２８０－５７－４１９０
E－mail：seisaku@town.nogi.lg.jp